



神戸大学生生活協同組合

2026年度（第70回）通常総代会議案書

第1号議案 2025年度活動報告・事業報告書および決算関係書類承認の件

第2号議案 2026年度事業計画及び予算決定の件

第3号議案 2026年度役員選出の件

第4号議案 役員報酬決定の件

日 時：2026年5月28日（木）17時00分

場 所：鶴甲第一キャンパス 神戸大学生協総務部2階会議室



《目 次》

第 1 号議案 2025 年度活動報告・事業報告書および決算関係書類承認の件

1) 2025 年度活動報告..... pp.1-8

 学生委員会活動報告..... pp.9-12

2) 2025 年度事業報告書および決算関係書類等..... pp.13-43

 参考資料..... pp.44-55

 店舗別損益対比表・損益比較表・2025 年度内部統制計画評価・2026 年度内部統制計画・沿革

監査報告書..... p.56

監事意見書..... p.57

第 2 号議案 2026 年度事業計画及び予算決定の件

1) 2026 年度活動計画..... pp.58-64

 学生委員会活動方針..... pp.65-66

2) 2026 年度予算..... pp.67-71

第 3 号議案 2026 年度役員選出の件..... pp.72-73

第 4 号議案 役員報酬決定の件..... p.74

設立趣意書

終戦後、神戸大学には教職員と学生の福利厚生を増進を目指して、六甲台協同組合、御影協同組合、住吉寮協同組合、住吉食堂運営委員会が発足して、不安定な国民生活の中で、組合員の経済的文化的生活を守りその向上をはかって来た。

然し、現在の社会状況は、このような私達の協同組合事業の強化を要請している。この時に当って私達は、これらの組合の社会的経済的信用を高め、かつ組合を法の統制と保護の下におき、その存続の基礎を固めるさしせまった必要から、これを統一して消費生活協同組合法の定める特殊法人「神戸大学消費生活協同組合」として発足しようとするものである。

1957 年 6 月 29 日

第1号議案 2025年度事業報告・事業報告書および決算関係書類承認の件

※第1号議案は2025年度の事業と活動を報告します。

第1号議案－1 2025年度活動報告

【客数・利用の増加と付加価値の創造】【事業剰余金(経常剰余金)予算達成】【従業員満足度の向上】の3点を2025年度の活動計画(方針)として、事業・活動の高次化、経営再建に取り組みました。

【概況】

利用人数は2024年度実績の+8.5%(+137,519名)と利活用が大きく増加しました。ショップ事業部では+18.8%(+97,407名)、FS事業部では+3.7%(+40,112名)となっています。2019年度との比較では、全体で69.7%に留まっています。やはり遠隔授業、ハイブリッド授業を活用する授業が多く、以前のような対面授業ありきでの状況ではないことが大きな要因です。

ただ利用人数は回復傾向で、MEAL PASSの利用対象商品の拡大(ショップで販売するパン・弁当・おにぎり・デザート等を新たに利用可)や、手作りパンの製造販売の開始、各店舗の混雑緩和に向けた取り組みによる効果と考えます。

2012年度～2025年度利用者推移

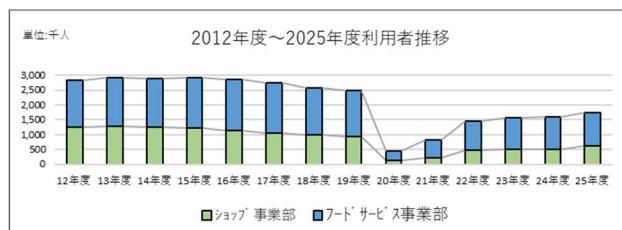
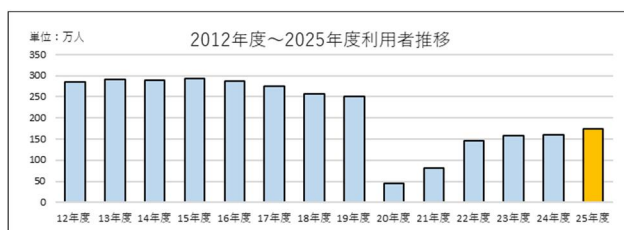
年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
利用人数	2,842,620	2,920,744	2,885,925	2,926,915	2,871,562	2,744,229	2,566,427	2,505,594	457,521	821,433	1,451,187	1,572,614	1,609,634	1,747,153
前年度比較	—	78,124	△34,819	40,990	△55,353	△127,333	△177,802	△60,833	△2,048,073	363,912	629,754	121,427	37,020	137,519
前年度増減率	—	2.7%	△1.2%	1.4%	△1.9%	△4.4%	△6.5%	△2.4%	△81.7%	79.5%	76.7%	8.4%	2.4%	8.5%
2019年度比較利用回復率									18.3%	32.8%	57.9%	62.8%	64.2%	69.7%

(単位：人)

2012年度～2025年度事業部別利用者推移

利用者推移	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
ショップ事業部	1,268,503	1,288,208	1,256,228	1,232,575	1,153,730	1,050,026	992,506	951,248	119,900	224,745	490,237	509,727	519,431	616,838
前年度比較	—	19,705	△31,980	△23,653	△78,845	△103,704	△57,520	△41,258	△831,348	104,845	265,492	19,490	9,704	97,407
前年度増減率	—	1.6%	△2.5%	△1.9%	△6.4%	△9.0%	△5.5%	△4.2%	△87.4%	87.4%	118.1%	4.0%	1.9%	18.8%
2019年度比較利用回復率									12.6%	23.6%	51.5%	53.6%	54.6%	64.8%
フードサービス事業部	1,574,117	1,632,536	1,629,697	1,694,340	1,717,832	1,694,203	1,573,921	1,554,346	337,621	596,688	960,950	1,062,887	1,090,203	1,130,315
前年度比較	—	58,419	△2,839	64,643	23,492	△23,629	△120,282	△19,575	△1,216,725	259,067	364,262	101,937	27,316	40,112
前年度増減率	—	3.7%	△0.2%	4.0%	1.4%	△1.4%	△7.1%	△1.2%	△78.3%	76.7%	61.0%	10.6%	2.6%	3.7%
2019年度比較利用回復率									21.7%	38.4%	61.8%	68.4%	70.1%	72.7%

(単位：人)



ただ、校費利用(物販・書籍とも)は減少傾向が続いており、今後も厳しい状況になると考えます(2022年度対比▲19.9%、2023年度対比▲10.6%)。

<単位：円>

	合計	物販その他	書籍(図書館)	2025年度比較	
2022年度	573,566,077	544,454,653	29,111,424	▲114,389,282	▲19.9%
2023年度	513,399,168	470,082,145	43,317,023	▲54,222,373	▲10.6%
2024年度	457,706,772	425,096,780	32,609,992	1,470,023	0.3%
2025年度	459,176,795	425,905,465	33,271,330	—	—

※値引後、税込金額です。

FS事業部では、3月(3月3日と3月31日の2回)に価格改定(値上げ)を実施しました。価格改定は毎年実施しており、組合員にはご負担を強いることとなっています。そのような中でも、利用者が増加していることはうれしい限りです。これに安堵することなく、QSS2Cの高次化を図り、さらな

る「期待≦満足」を目指さなければならないと考えます。

※QSS₂Cは、「クォリティー」「サービス」「スピード」「クリンリネス」を表し、大学生協の食堂が大切にしている4つの柱です。

ケータリング事業も多くの受注を頂くことが叶いました。それ以外にも企画メニューの提供や、工学部食堂やBELBOX カフェテリアにて100円夕食を提供しました(年2回実施)。特筆すべき事項は、米の仕入戻し(約487万円)が年度末にありました。高騰する米の仕入価格に対して、仕入見込単価が下がったためです。

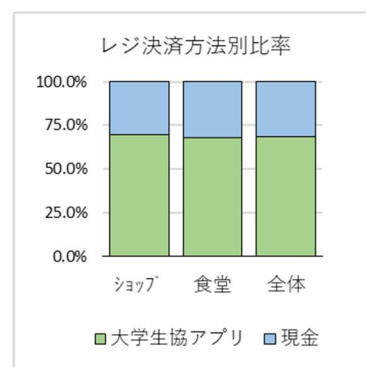
ただ全体的には、設備や備品・什器の経年劣化による修理や入替、労働環境を改善するための設備投資、Windows11に対応した業務用PCの購入等があり、大きな費用負担となっています。特に電気料金の高騰(大学からの請求)が大きな負担となっています(2024年度対比で+24.4%)。今後も社会情勢が不透明なことから、電気料金の単価がさらに上昇する可能性が高いです。

2024年度・2025年度電気料金単価の比較

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	平均
2024年度	17.08	17.28	13.10	14.18	14.53	15.16	14.96	14.94	14.72	15.46	15.69	15.29	15.20
2025年度	18.79	18.76	18.91	19.54	19.43	19.86	19.01	18.75	18.17	18.59	18.66	18.48	18.91
上昇率	10.0%	8.6%	44.4%	37.8%	33.7%	31.0%	27.1%	25.5%	23.4%	20.2%	18.9%	20.9%	24.4%

<単位：円>

大学生協アプリの利用率(電子マネー・MEAL PASS・ポイント利用)は、全体で約68.5%(昨年度比+1.4%)と増加しました。ショップ事業部は69.5%・FS事業部は68.0%で、昨年度との比較ではショップ事業部が+2.4%、FS事業部が+0.9%です。特に1年生の利用が多い鶴1食堂で83.8%、鶴1ショップで67.8%、学生会館の教科書販売で91.5%と高いです。多くの組合員が大学生協アプリを利用されることで、年間約17,324千円を付与しており、決済時に利用されたポイントも年間総額で約1,865万円(=1,865万円)となります。

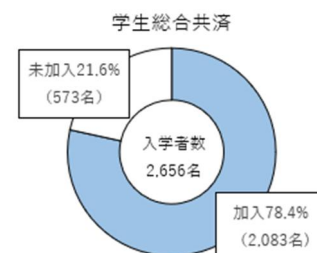
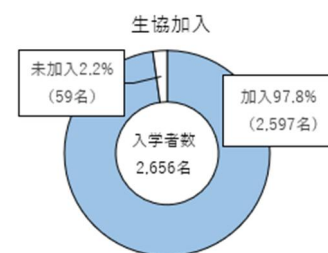


※付与したポイントと決済利用されたポイントの差は、これまでに付与されたポイントを含むためです(2025年度以前に付与されたポイントを決済利用)。

多くの組合員にポイントを通して利用還元することができました(1円=1円で決済利用可)。

① 新入生支援活動

大学の入学手続きがオンライン化され、2024年度は生協加入が例年よりも少なくなりました。2025年度は早々に学務部と打ち合わせを行い、対策を施した結果、生協加入率を少し改善することができましたが、まだ2023年度以前の水準には届いていない状況です。これは入学者数が大きく増加したことで(+55名)、入学手続き後に休学するケースも増加したことに起因するのではと分析しています。学生総合共済の加入は入学者の80%を目指しましたが、あと一步届きませんでした。結果、新入生の約97.8%が生協に加入いただき、学生総合共済は約78.4%、学生生活110番は約77.9%、そして学生賠償責任保険は約76.2%の加入となりました。保護者世代の給与水準が新卒採用水準より低く、物価高騰等の影響により生協からの案内(生協加入・共済加入・学習用PCの提案等)に対して精選されている可能性が危惧されます。全体的な生協加入自体は増加しており、大学生協アプリの決済活用(キ

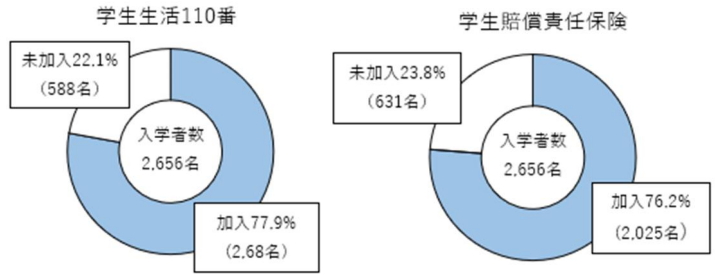


キャッシュレス)や決済時のポイント付与による加入メリットの認識が進んだことが要因と考えます(特に教職員や留学生)。

※2024年度の新入生は、生協加入が約97.7%、学生総合共済が約74.7%、学生生活110番が約71.8%、学生賠償責任保険は約76.1%でした。

学習用パソコンは、計画台数(840台)を超過達成することが叶いました(販売実績は870台)。学習用パソコンを4年間サポートする安心サポートパックは、学習用パソコン購入者の90.5%、パソコン講座(神大生版Office講座)は461名(対面講座が205名、

オンライン講座が256名)となりました。MEAL PASS(旧学食定期)は、ショップでの決済対象商品の拡大、未使用残金の電子マネーへの返金等、大きく仕様を変更したことで、新入生の1,031名(約38.8%)が申し込まれました。全体(新入生+在校生)は4月開始プランで2,180名(1食プラン2,078名・2食プラン102名)、5月開始プランで167名(1食プラン162名・2食プラン5名)の申込となりました。2025年度もオンライン方式にて入学準備説明会を開催し、合格者ならびに保護者を対象に計6回開催(昨年度は5回)し、参加された2,226名(申込は2,173名)に新入生支援活動を紹介することができました(参加は昨年度の+835名)。住まい紹介では来場者数が増加し、六甲地区・大倉山地区(医学部)での成約件数は昨年実績を超えました。



※4月3日(木)の午前と午後の下宿生オリエンテーションを開催し、先輩神大生の協力をいただき、1人暮らしの不安解消や友達作りを支援しました(130名参加)。



②受験生支援活動

◇住まい紹介オンラインセミナー

現役神大生にも協力をいただき、1月30日・31日に受験生・保護者を対象としたオンラインセミナーを開催しました(10時・14時の各日2コマで390名が参加)。また、医学部医学科・保健学科も昨年度同様にオンラインセミナーを2月13日に開催し、32名の参加がありました。

◇受験宿泊

受験宿泊は768組1,602名となりました。昨年度実績(727組1,577名)からは増加しています。



③プレ総代会の開催

総代会前にプレ総代会を5月15日に開催し、総代ならびに組合員と意見交換を行いました。65名が参加され、「食堂の卓上パーティション」「メニューの価格改定」「MEAL PASS」の3点で、多くの意見を頂くことができました。



④1年生との意見交流会

6月23日に、新入生支援活動で取り組んだ「入学準備説明会オンライン」「学習用パソコン」「パソコン講習会」「MEAL PASS」に関して、新入生と意見交流を開催し、28名の1年生と意見交流を行うことができました。担当の生協職員が、各テーブルを訪問するワールドカフェ方式で開催しました。「生協からの提案がわかりやすかったか?」「ニーズに合っていたのか?」「もっとこうすれば良い」等、新1年生と生協職員の双方向からの率直な意見や質問が活発に行われ、次年度以降の改善点や課題点の発見につながりました。

⑤一言カードの投函枚数の推移

2025年度も多くの一言カードを投函頂きました。食堂のメニューに関する意見・要望が多いです。一言カードは、組合員との大切なコミュニケーションツールの一つです。生協職員が気付かない課題や改善へのヒントとなります。2024年度より投稿枚数が減少傾向となっています。

各年度の投函枚数

<単位:枚>

	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
計	138	169	133	254	158	207	58	90	175	190	150	126

⑥食堂メニューの価格改定

社会情勢の悪化(戦争・為替・自然災害)が想定を超える状況となり、食材の仕入価格・物流費(燃料価格)等が高騰しました。また、最低賃金の大きな改定にて人件費が増加しており、食堂メニューの価格を3月3日ならびに3月31日(同月内に2回)の改定を行いました。

⑦共済企画「六甲健康ランド」の実施

10月21日に鶴2食堂、22日に工学部食堂、23日に鶴1食堂にて共済企画「六甲健康ランド」を開催致しました。22日(水)は雨天となりましたが、昨年度より+19名の273名が参加されました。食生活相談はで104名((昨年度は141名)の相談に対応しました。

※食生活相談の内訳は、対面は58名(昨年度は59名)、メールは46名(82名)となります。

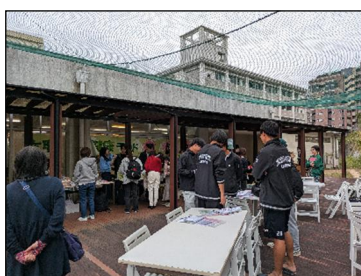
また、食生活相談を対面で行った組合員には、「六甲健康ランドサラダ利用券」をお渡ししました。

※「六甲健康ランドサラダ利用券」は、FS事業部がメニュー開発を行ったサラダを食べていただく利用券で、食物繊維を積極的に取って頂くための取り組みです(2025年度初めての試み)。

共済企画は、学生総合共済の活動4本柱(加入・給付・予防提案・報告)の一環として、各大学生協にて様々な企画に取り組んでいます(給付ボードの掲示や自転車安全点検等々)。神戸大学生協では、「六甲健康ランド」として健康チェックや食生活相談を実施しています。昨年度は鶴1食堂・LANSBOX食堂・工学部食堂で実施しました。

【10/23 鶴1食堂】

【10/21 鶴2食堂】



【10/22 工学部食堂】





2025年3月21日～2026年3月20日の期間での 学生総合共済給付件数および給付金額		
事由	件数	給付金額
本人死亡	2件	2,000,000円
事故後遺障害	0件	0円
病気入院	189件	19,280,000円
事故入院	65件	4,220,000円
病気手術	124件	6,200,000円
事故手術	55件	2,750,000円
事故通院	572件	11,182,000円
事故長期	0件	500,000円
父母死亡	9件	4,000,000円
扶養死亡	2件	5,500,000円
こころの早期保障	46件	460,000円
合計	1,064件	56,092,000円

2025年度の学生総合共済の給付は表の通りで、多くの組合員の病気や事故に際しての支援を行うことが叶いました。また当生協の組合員の皆様から、たすけあい奨学制度(大学生協学業継続奨学制度)に25,803円の寄付を賜ることができました。この制度は、扶養者を亡くした学生の学業継続をみんなで応援する取り組みで、2025年度は5名(審査は7名)に奨学金(55万円)を給付することが叶いました。

※1992年度よりこの制度は開始されており、2025年度までで76名の組合員に給付しています。全国では、個人・企業を含めて約2,665万円の寄付を賜り、134大学(大学生協のある大学)399名の学生に4,747万円の奨学金を給付しています。

⑧書籍ポイント付与率の変更

2025年度第2回理事会(6月24日開催)にて審議頂き、2026年1月1日からの大学生協アプリ決済時の書籍ポイント付与率を100円につき10割を5割に変更することを議決しました。但し、4月ならびに10月は、教科書購入を支援するために、100円につき10割とします。

⑨組合員価格の導入準備

2026年度からの運用開始に向けて、プロジェクトを発足しました。プロジェクトチーム内には、「広報」「オペレーション」「生協加入」の3つのワーキンググループ(4から5名)を設置し準備を進めています。

※ワーキンググループは、年齢・勤務年数・雇用形態に囚われず、各事業部からメンバーを選出しました。

⑩鶴2食堂のリノベーション

鶴2食堂のリノベーション工事に伴い、12月22日から休業(4月1日営業再開)となりました。リノベーション後の鶴2食堂は、営業時間外をラーニングコモンズ、地域のコミュニティとの交流、そして研究発表等のフリースペースとして活用されます。

※リノベーション工事は食堂ホールの外壁・内装・床・照明器具(LED化)が対象です。また、フリースペースとして活用するためにホワイトボードやスクリーンが設置され、机・椅子も新しくなります。食堂営業時間外での活用を少しでも快適にするため、サントリーのポスマート(飲料と食品が一体となった自動販売機)も設置する予定です(当生協では初めての設置)。

【神戸大学生協からのお知らせ】 2025年8月
神戸大学生協共済組合
専務理事 渡部 宏史

書籍購入時のポイント付与率変更について

平素より、神戸大学生協の食卓・ショップをご利用いただき、誠にありがとうございます。神戸大学生協では、大学生協アプリによる決済において、一部商品を除き、ご利用金額に応じたポイント付与を行っております。特に書籍については、「100円につき10ポイント」の付与を適正に、組合員の基礎的学びを促進する取り組みとして実施してまいりました。

しかしながら、コロナ以降の書籍価格は大きく、特に書籍販売費では元々の販売費が割れております。2026年度以降では、約1億2,000万円の書籍販売金額に至り、現在、暫くの間、赤字の状態に陥っております。

このような状況を踏まえ、誠に残念ではございますが、書籍購入時のポイント付与率を以下の通り見直すこととなりました。

ポイント付与率の変更内容

対象：書籍購入時のポイント付与

4月～10月(1日～末日) ▶ 100円につき10ポイント
上記以外の期間 ▶ 100円につき5ポイント
変更実施日 ▶ 2026年1月1日～

※教科書販売部では、標準額が100円につき10ポイント、を付与いたします。
※出版社の協力により、書籍アプリでのポイント付与率も同様見直しとなります。

近年、大学の飲食店やコンビニ等でも価格改定が相次いでおりますが、神戸大学生協においても、従来の価格・サービスの維持が難しい状況となっております。

神戸大学生協は、組合員の皆様とともに、安心して学ばれたキャンパスライフを支えることを使命としています。今回の変更につきましては、皆様にご協力をお願いすることとなり、心より申し訳なく思っております。今後も、より一層、ビズの提供に努めてまいりますので、引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

神戸大学生協の事業・活動の詳細は、以下の二次元コードから、当生協ホームページにてアクセスしてご覧ください。

QRコード: 食卓、共済組合、2025年度新刊

組合員の皆様のご理解とご協力、そして各店舗の地元の利用を心よりお願い申し上げます。

⑪手作りパン(うりぼーベーカリー)の製造販売の拡充

手作りパンの販売は、鶴1ショップでの販売を中心とし、金曜日のみ六甲地区のショップならびに工学部食堂(テイクアウトコーナー)で販売する形でスタートしました(製造は最大1,000個が可能)。

※長期休校期間中(夏季・春季等)は休業です。

非常に好評なことから、鶴1食堂の製造コーナーに設備を増設し、11月から六甲地区の全ショップならびに工学部食堂(テイクアウトコーナー)にて販売できるようにしました(製造は最大2,000個が可能)。増設に際しては、他食堂に設置(製造の2拠点化)することも検討しましたが、手作りパンのクオリティを維持することを重要視した結果、鶴1食堂の1拠点にて製造することを判断しました。手作り弁当に次ぐ大きな事業の柱に成長しており、今後も商品の内製化に力を入れる予定です。

⑫大学との連携および貢献活動

◇神戸大育友会との連携

今年度も神戸大育友会より、新入生に贈呈する生協利用券(500円)の依頼があり、2,900枚を発行しました。

※券面と封筒は生協がデザインしました。



◇留学生ホームカミングデイへの協力

10月25日に百年記念館六甲ホールにおいて、第22回留学生ホームカミングデイが開催されました。今年度も学生委員会が「KUワールドフェスタ」に協力し、「留学生によるハロウィンファッションショー」の企画・運営を担いました。5カ国の在学留学生が参加され、個性を活かした衣装で登場し、歌の披露も行われました。



◇データサイエンス PBL 演習への協力

今年度も第3クォーターに開講されます、「データサイエンス PBL 演習」に協力しました。10月6日の第1回目(4限目)の講義にて、「データサイエンス PBL 演習への期待」として講演させて頂き、第7回にて各チームの成果発表、第8回にて講評を行いました。

※データサイエンス PBL 演習は、2022年9月1日に大学と共同研究契約を締結、各食堂の利用データを提供しています。このデータをもとに、2023年度からのデータサイエンス PBL 演習で活用されています。

◇神大オリジナルグッズ

大学のUI活動への貢献として、神大オリジナルグッズの出張販売(学内外)を行いました。主な販売は以下の通りです。

実施日	学事等	販売場所
3月25日	卒業式	神戸ワールド記念ホール
4月4日	入学式	神戸ワールド記念ホール
10月4日	神戸医療産業都市一般公開	ポートアイランド神戸大学総合研究拠点1Fホール
10月11日	山口誓子講演	神戸大学百年記念会館
10月25日	ホームカミングデイ	BELBOXショップ店舗内・六甲台本館前中庭
11月4日	環境保全推進センター シンポジウム2025	神戸大学百年記念館
11月8日 11月9日	六甲祭	六甲台本館前中庭



◇「環境保全推進センター シンポジウム 2025」への協賛

11月4日に神戸大学百年記念館で開催されましたシンポジウムに協賛しました。このシンポジウムは、「食品ロスの真実 ～未来を変える選択～」をテーマに、現状と課題を知り、持続可能な社会の実現に向けた取り組みについて考える機会として、講演やパネルディスカッション、ポスター展示などが行われました。当生協では、来場者への生協利用券(額面 200 円)の協賛、学生委員会が実施した企画「となりの本屋さん」の報告の掲示、そして神大オリジナルグッズの販売を行いました。



◇「Kobe-Univ キャンパス移動 Re-Design」への協賛

キャンパスライフ支援センターが1月20日に瀧川記念会館にて開催しました、「Kobe-Univ キャンパス移動 Re-Design」に協賛しました。坂道の多い神戸大学において、「学内移動の未来を分野別に考える」をテーマとしたイベントです。当生協からは、手作りパン・ホットコーヒー・豚汁の提供を協賛しました。



◇2025年度の大学との業務委託関係(契約等)や寄付等は以下の通りです。

- ・神戸大学構成員への福利厚生に対する業務委託契約・協定書・覚書の締結
- ・学生ホール(食堂ホール)光熱費の一部負担※1
- ・全学ソフトウェアライセンス(MicrosoftのOSとOffice)のインストールサポート
- ・大倉山キャンパス(医学部医学科)を除く自動販売機設置管理業務(5年ごとに入札で4年目)※2
- ・学生証発行に関する業務※3
- ・入学試験合格者への書類発送業務※4
- ・プリント課金システム運用業務
- ・鶴甲第1キャンパス・六甲台第2キャンパス(文理農)の入構パスカード販売
- ・神戸大学ブランドグッズの商品開発、販売※5
- ・可燃ゴミ回収業務(随時契約)
- ・経済経営研究叢書の販売に関する契約(出版物販売契約)
- ・英語外部試験受験料一部支援制度申請受付業務※6
- ・国際人間科学部グローバル文化学科1年生の英語外部試験実施受託※7
- ・食堂ビッグデータを活用したデータサイエンスAI教育の展開に関する共同研究契約

※1)厚生補導奨学寄付金として200万円を寄付しました。

※2)自動販売機の供給高の一部として約1,264万円を納付しました。

※3)学生証の裏面に生協加入シール(組合員番号を印字)を貼ることで組合員証として利用しています。学生証発行費用は生協が全額負担しています(約243万円)。また、同窓会・生協に対する個人情報共同利用に同意していただいた新生生のデータを、大学より提供していただいています。

※4)発送費用は生協が全額負担しています(約425万円)。

※5)2024年度は、ロゴマーク使用料約81万円(昨年度74万円)を大学に納付しました。

※6)1年生以外の対象学部生において、2018年度より大学指定の英語外部試験を受験した場合、大学が受験料の一部支援(QUOカード)を行い、その申請窓口業務を生協が請け負いました。

※7)グローバル文化学科の1年生を対象としたTOEFL-ITPの実施を受託しました。

学生委員会活動報告

神戸大学生協学生委員会
委員長 河元 峻

学生委員会(以下 GI)の 2025 年度活動報告【イベントの企画や冊子の発行等】は以下の通りです。

《冊子》

組合員向け機関紙 Rambler Times No.153~154

- 【目的】①組合員に生協についての情報を伝える。
②GI が生協組織であることを組合員に認知させる。
③組合員からの GI の解像度を上げる。

【概要】神戸大学生協機関紙 Rambler Times の発行

【発行部数】No.153 : 3,600 部、No.154 : 900 部



受験生向け冊子 (神大 Navigator'25)

- 【目的】①受験生の神戸大学入学後の不安を軽減する。
②受験生に神大の魅力を伝えることで神大に行きたいと思ってもらう。

【概要】神大 Navigator'25 の発行

【発行部数】17,300 部

【発行方法】・郵送

(大学案内等と同梱シテレメール等で配布)

- ・インターネットでの公開
(神戸大学入試「受験生ナビ」)
- ・学生委員の母校に直接設置



新入生向け冊子 (うりぼう 2026)

- 【目的】①新入生に神戸大学での学生生活の、イメージを持ってもらう。
②新入生に神戸大学の生協や GI について知ってもらう。

【概要】うりぼう 2026 の発行

【発行部数】3,200 部

【発行方法】新入生合格袋に同封



《イベント》

選挙企画 GTE

【目 的】 神大生に、選挙や投票を身近に感じてもらい、実際の選挙に行ってもらおう。

【概 要】 ①模擬投票イベント「生協パン総選挙」を開催。
②主権者教育リーフレット発行。

【日時場所】 6月23日(月)～25日(水)

【結 果】 3日間で636人が投票し、メロンパンが1位に。
7月7日～10日の4日間100円で販売。



受験生相談会企画 (TIS)

【目 的】 受験に対する不安を解消・軽減するとともに、神戸大学について知ってもらい本校を受験したいと思ってもらおう。

【概 要】 ①受験生相談会の開催。(対面・オンライン)
②受験生応援板の管理(受験生の質問対応)

【日時場所】 オンライン：8月17日(日) @Zoom

対 面：8月18日(月) @鶴甲第一キャンパス学生ホール

【結 果】 オンライン：36名
対 面：73名

バイト相談企画 (キャッチ)

【目 的】 アルバイトを始めることに関して不安を感じている新入生に、アルバイトに関する知識や知識を得る機会を与える。

【概 要】 ①職種ごとに経験者から話を聞けるバイト相談会の開催する。
②アルバイトに関する知っておくべき知識をまとめた資料を作成する。

【日時場所】 ①6月30日(月)～7月2日(水)

@鶴甲第一キャンパス学生ホール

【結 果】 参加者数：16名



古本フリーマーケット (まめほん)

【目 的】 ①読書の習慣がない神大生に読書のきっかけを与える。
②読書の好きな神大生に新しい本を読むきっかけを与える。

【概 要】 神大生からいらなくなった本を集めてフリーマーケットを開催する。

【日時場所】 7月8日(火)～10日(木)

@鶴甲第一キャンパス学生ホール

【結 果】 3日間で253冊を販売



SNS 運用企画

- 【目 的】①組合員にとってニーズが高い（信憑性の高い）情報を提供する。
②情報発信を通して、組合員のニーズにこたえる。
③GI の活動内容を発信する、フォロワーを増やし GI の認知度を高める。

- 【概 要】①Instagram、X での投稿
②新入生向け質問箱の設置、対応

- 【日時場所】①Instagram：原則毎週日曜
X:不定期

②3～4月

- 【結 果】前期新規フォロワー：285 人
後期新規フォロワー：611 人
(2025 年 4 月 16 日現在フォロワー3,624 人)



防災企画(防災部屋)

- 【目 的】就活の情報を気軽に得られる場を提供し、就活に対する不安を軽減する。

- 【概 要】就活を進めるうえで有益な情報を Instagram で定期的に発信する。

- 【日時場所】5月～8月の4カ月間、毎月5日間程度の頻度で投稿



フリーマーケット企画(りのわ)

- 【目 的】ごみや不用品を回収して、リユース・リサイクルによってゴミを減らす。

- 【概 要】①組合員から収集した不用品でフリーマーケットを開催する。
②ペットボトルキャップを回収し、毎ボトル持参を呼び掛ける。

- 【日時場所】12月16日(火)～17日(水)
@鶴甲第一キャンパス学生ホール

- 【結 果】2日間で150人が来場し、228点の商品を販売。
売れ残った商品を NPO 団体に寄付。



運動不足解消企画(スノーボー)

- 【目 的】遊びの中で運動をすることで、運動の楽しさを知ってもらい、運動をする習慣のきっかけを作るとともに今まで関わりがなかった人と交流してもらう。

- 【概 要】雪玉に見立てたスポンジボールを用いた雪合戦大会の開催

- 【日時場所】12月22日(月) @鶴甲第一キャンパス
第一体育館

- 【結 果】16名が参加



単日新歓企画 (Signal26)

【目 的】 新入生の大学生活への不安を解消する。

【概 要】 新入生向け単日新歓イベントを行う(3日間)。

【日時場所】 3月17日(水)・19日(金)・23日(月)

@神戸大学、六甲周辺

【結 果】 3日間で142名の参加者



新入生勧誘企画(勧誘)

【目 的】 新入生が楽しめる新歓行事をつくり、参加してもらうことでGIに興味を持ってもらい、説明会に参加してもらう

【概 要】 勧誘活動を行う

【日時場所】 4月5日(日) LANS HALAL Vege Dining

4月6日(月) 神戸大学キャンパス全域

4月8日(水) LANS HALAL Vege Dining

4月9日(木) LANS HALAL Vege Dining

4月12日(日) 鶴甲第一キャンパス体育館

4月13日(月) LANS HALAL Vege Dining

4月15日(水) LANS HALAL Vege Dining

4月16日(木) LANS HALAL Vege Dining

【結 果】 新歓には約150人(全日程)、説明会には63人が参加しました。



第1号議案－2 事業報告書および決算関係書類等

2025年度事業報告書

2025年3月1日から2026年2月28日

作成 2026年3月25日

兵庫県神戸市灘区六甲台町

備付 2026年5月1日

神戸大学生協同組合

理事長 西野 友年

1. 組合の事業活動の概況に関する事項

1. 事業年度の末日における重要な事業活動の内容

事業種目		主な事業品目等
供給 及び 利用 事業	物品供給	書籍・学用品・教育機器・衣料品・電気製品・家具・その他組合員の日常生活に必要な物資を供給する事業
	サービス	国内・海外旅行等の旅行事業を取り扱う事業
	提供	アパート・下宿の斡旋及び管理する事業 その他日常生活に必要なサービスを提供する事業 組合員に食事を提供する事業
その他	組合員のためのコープ共済商品の業務受託事業 組合員への教育・文化活動 就職活動支援情報提供の各種の取り組み、留学生等の支援、外国の協同組合との交流	

2. 事業の経過及びその成果並びに対処すべき重要な課題

1. 事業の経過及びその成果

(1) 事業方針

2025年度の活動計画(方針)は【客数・利用の増加と付加価値の創造】【事業剰余金(経常剰余金)予算達成】【従業員満足度の向上】の3点とし、経営再建に取り組みました。

(2) 経済及び事業環境

商品・食材の仕入価格の高騰により、食堂メニューの価格改定を3月に2度実施することとなりました。また、最低賃金の大きな改定、光熱費の請求単価の値上げ等、厳しい経営環境となりました。また、校費利用の減少も続いています。

(3) 事業の状況

厳しい環境の中、各ショップで組合員の利活用は増加しています。手作りパンの製造販売へのチャレンジや、MEAL PASSの利用開放が大きな効果を発揮しました。

(4) 事業経費

1) 組合員数及び出資金

当期末の組合員数は21,180名(前年度比+387名)、出資金額は3億8,085万円(前年比+370万円)となりました。大学生協アプリの決済促進(キャンパス内のキャッシュ化)が進むことにより、生協加入のメリット(ポイント付与やMEAL PASSの活用)がいままで以上に実感できたことが要因と考えられます。

2) 供給事業

総供給高は 21 億 2376 万円で、前年度対比+3.8%、予算対比△1.9%となりました。ショップ事業部では前年度対比+2.2%、予算対比△3.5%、フードサービス事業部では前年対比+7.4%、予算対比+1.5%です。供給高は予算を未達成となりましたが、供給剰余金は大きく増収(8.5%)ならびに予算超過達成(+4.7%)となりました。これは手作り弁当や手作りパン等の内製商品に力を入れた結果です。また、食堂も適正な供給剰余率(GPR)の確保に努めたことと、ケータリング事業も多くの受注を頂けたことが要因です。大学校費利用は 2025 年度も減少傾向が続いています。

※供給剰余金は、供給高から商品(食材)原価を差し引きした金額です。供給剰余率(GPR)は、供給剰余金を供給高で割った指数で、大きいほど収益率が高いです。

3) その他事業

1 億 5,948 万円で、前年対比は+3.7%の増収となりましたが、予算対比△0.2%と予算未達成となりました。主に新入生支援活動の取り組みによるものです。

4) 事業経費

人件費は 4 億 8,251 万円(前年対比+6.4%、予算対比△1.6%) で、物件費は 2 億 9,923 万円(前年対比+5.2%、予算対比+8.3%)です。人件費の前年比増は最低賃金の大きな改定が大きな要因ですが、稼働計画等の適正化により予算内執行となっています。物件費は、設備・備品の経年度劣化による修理・入替(買替)が多く発生したことと、光熱費の使用料が増加(大学からの請求単価値上げ)しましたことが要因として挙げられます。

5) 事業外損益

事業外収益は、未返還出資金の整理益 1,875 万円その他、トレイ広告料 389 万円等を雑収入に計上しました。事業外費用は、整理益計上後の出資金返還 56 万円、買掛金整理損 38 万円、消費税額違算 28 万円等を雑損失に計上しています。

6) 特別損益

国からのキャリアアップ助成金 490 万円を、特別利益に計上しました。特別損失には固定資産除却損を 12 万円計上しています。

7) 当期剰余金

税引前当期剰余金は△1,109 万円で、2,420 万円の予算超過達成となりました。法人税等を控除した当期剰余金は、△1,225 万円となりました。

2. 対処すべき重要な課題

重要な展望と課題

仕入価格の高騰や光熱費の値上げ、そして校費利用減への対応が重要な課題です。

(1) 直前 3 事業年度の財産及び損益の状況

(単位:円)

項目	2022年度	2023年度	2024年度	本年度
組合員数(人)	21,042	20,832	20,793	21,180
出資金額	379,144,000	377,758,000	377,148,000	380,851,000
供給高	1,855,901,231	2,049,592,136	2,044,752,317	2,123,765,939
その他事業収入	157,865,430	156,293,766	153,664,025	159,488,080
経常剰余金	△ 56,962,219	3,069,899	△ 31,598,541	△ 15,866,079
総資産	772,570,372	790,857,600	745,463,718	752,510,669
純資産	258,987,624	259,347,169	227,408,695	218,859,197

(2) 供給事業の状況表

1) 部門別・業態別供給高の状況

(単位:円)

項 目	2022年度	2023年度	2024年度	本年度
[部門別供給高]				
購買	792,039,436	773,174,917	749,690,626	798,224,942
旅行サービス	324,325,348	435,913,268	399,874,574	372,526,611
書籍	263,898,487	257,579,428	236,647,439	223,146,708
食堂	475,722,492	582,959,115	658,568,415	729,650,107
その他	△ 84,532	△ 34,592	△ 28,737	217,571
	1,855,901,231	2,049,592,136	2,044,752,317	2,123,765,939
[業態別供給高]				
店舗	1,855,901,231	2,049,592,136	2,044,752,317	2,123,765,939
	1,855,901,231	2,049,592,136	2,044,752,317	2,123,765,939

2) 供給高の事業所別内訳

(単位:円)

店 舗 名	2022年度	2023年度	2024年度	本年度
鶴1ショップ	362,322,082	319,687,244	285,248,394	301,152,669
医学部店	184,388,814	175,344,643	186,130,296	178,616,251
保健学科店	21,033,245	21,644,321	19,509,044	19,278,660
BELBOXショップ	124,092,415	223,923,236	222,807,849	227,012,528
鶴2ショップ	15,064,145	15,110,954	15,014,630	17,316,221
キャリアデザイン企画課	5,073,972	6,889,094	3,093,617	3,643,553
深江ショップ	35,299,467	33,020,928	36,132,980	32,752,797
サービスセンター	329,518,040	452,202,429	406,306,822	373,396,120
LANSBOX店	45,597,038	53,510,201	55,515,734	63,524,962
学生会館店	113,648,820	—	—	—
Rabbit's Square	9,357,723	12,049,999	11,495,384	9,833,959
店舗支援課	—	55,619	—	—
キャンパスPC	165,046,389	186,933,838	183,764,874	231,044,707
鶴1食堂	62,260,839	81,944,676	90,490,833	95,484,133
BELBOXカフェテリア	31,959,449	43,122,468	65,929,405	76,973,960
レストランさくら	18,579,288	45,049,264	49,167,587	54,467,843
工学部食堂	162,003,152	183,089,629	193,288,146	204,891,813
LANSBOX食堂	66,310,695	78,717,793	85,795,159	93,382,458
鶴2食堂	14,971,847	16,052,985	17,906,687	17,305,626
医学部食堂	63,251,283	70,646,987	84,763,480	90,846,980
保健学科食堂	9,076,175	10,570,546	12,332,225	12,364,653
深江キッチン	17,046,353	20,025,282	20,059,171	20,476,046
計	1,855,901,231	2,049,592,136	2,044,752,317	2,123,765,939

※学生会館店は2022年8月にBELBOXショップと事業統合しました。

(3) 受託共済事業状況表

1) 加入者数の状況

(単位:件)

共済事業の種類	加入者数			
	元受団体名	本年度	前年度	前年比
学生総合共済 (生命共済)	日本コープ共済連	10,657	10,557	100.9
合 計		10,657	10,557	100.9

2) 元受団体共済掛金及び共済金支払の状況

(単位:円、件)

共済事業の種類	元受団体名	元受団体共済掛金			共済金支払件数			共済金支払金額		
		本年度	前年度	前年比	本年度	前年度	前年比	本年度	前年度	前年比
生命共済	日本コープ共済連	154,116	151,959	101.4	1,058	1,017	104.0	56,334	52,613	107.1
合 計		154,116	151,959	101.4	1,058	1,017	104.0	56,334	52,613	107.1

3. 増資及び資金の借り入れその他資金調達状況

該当する事項はありません。

4. 組合が所有する施設の建設または改修その他の設備投資状況

設備投資概況表

施 設 ・ 設 備 名	所 在 地	摘 要
工学部食堂 エアコン増設一式	灘区六甲台町2-1	25年7月取得
深江キッチン エアコン増設一式	東灘区深江南町5-1-1	25年7月取得
鶴1食堂 エアコン増設一式	灘区鶴甲1-2-1	25年7月取得
保健学科食堂 食器洗浄機	須磨区友が丘7-10-2	25年7月取得
鶴1食堂 オープンショーケース2台	灘区鶴甲1-2-1	25年9月取得
店舗支援課 冷凍庫	灘区鶴甲1-2-1	25年10月取得
工学部食堂 冷凍庫	灘区六甲台町1-1	25年10月取得
店舗支援課 ドウコンディショナ	灘区鶴甲1-2-1	25年10月取得
店舗支援課 コンピオープン	灘区鶴甲1-2-1	25年11月取得
店舗支援課 電気貯蔵式湯沸し器	灘区鶴甲1-2-1	25年11月取得
鶴2食堂 食器洗浄機	灘区鶴甲3-11	25年11月取得
深江ショップ 冷蔵ショーケース	東灘区深江南町5-1-1	25年12月取得
鶴1食堂 ガスゆで麺器	灘区鶴甲1-2-1	26年2月取得
BELBOXショップ 学生会館壁面棚	灘区鶴甲1-2-1	期中除却
BELBOXショップ 学生会館中央型平台付書籍棚	灘区鶴甲1-2-1	期中除却
鶴1食堂 コールドテーブル	灘区鶴甲1-2-1	期中除却
鶴1食堂 ティーサーバー	灘区鶴甲1-2-1	期中除却
LANSBOX食堂 冷凍庫	灘区六甲台町2-1	期中除却
LANSBOX食堂 給湯器50号	灘区六甲台町2-1	期中除却
深江ショップ 多段オープンショーケース	灘区鶴甲3-11	期中除却

5. 他の法人との業務上の提携

業 務 提 携 先	所 在 地	提 携 内 容
大学生協事業連合	東京都杉並区和田3-30-22	業務委託
国立大学法人 神戸大学	神戸市灘区六甲台町1-1	業務受託

6. 他の会社を子会社等及び関連法人等とすることとなる場合における当該他の会社の株式または持分の取得

該当する事項はありません。

7. 事業の全部または一部の譲渡又は譲受け、合併その他の組織の再編成

該当する事項はありません。

8. 教育事業の状況

(単位:円)

項 目		金 額
当期に繰り越された教育事業等繰越金		0
教育事業等の使途		
	容	金 額
教育文化費	新入生歓迎冊子	248,101
	組合員向け企画諸費用	240,049
	学生委員会機関紙発行	322,959
	学生委員会活動費	174,748
	新入生歓迎企画	66,857
	セミナー参加費	19,073
		1,071,787

II. 組合の運営組織の状況に関する事項

1. 前事業年度における総代会の開催状況

第 69 回通常総代会

総代会開催日	2025年5月29日	
総代会日現在総代数	118名	
出席総代数	本人	1名
	代理人(委任)	0名
	書面	117名
合計		118名
(重要な議事、議決事項および議決状況)		
第 1 号議案	2023年度事業報告・決算関係書類等承認の件	賛成116票 保留0票 反対1票
第 2 号議案	2024年度事業計画及び予算決定の件	賛成116票 保留1票 反対0票
第 3 号議案	役員選出の件	全員信任
第 4 号議案	監事監査規則の一部変更	賛成116票 保留0票 反対1票
第 5 号議案	役員報酬決定の件	賛成116票 保留0票 反対1票

(注) 総代選挙は、総代選挙規約に基づいて行われ、135人の定数に対して118人が立候補し、選挙の結果2025年5月2日当選人が公告されました。
定款上、議長は議決に加わる権利を有しません。

2. 組合員に関する事項

(1) 組合員出資金等増減表

(単位:円)

区 分	組合員数	口 数	組合員出資金総額	一人当組合員出資金額
期首現在	20,793	377,148	377,148,000	18,138
期首現在(学生・院生)	19,340	365,527	365,527,000	18,900
期首現在(教職員その他)	1,453	11,621	11,621,000	7,998
当期増加分(学生院生)	4,771	88,558	88,558,000	18,562
当期増加分(教職員その他)	105	791	791,000	7,533
当期減少分(学生院生)	4,419	85,183	85,183,000	19,277
当期減少分(教職員その他)	70	463	463,000	6,614
期末現在(学生院生)	19,692	368,902	368,902,000	18,734
期末現在(教職員その他)	1,488	11,949	11,949,000	8,030
期末現在	21,180	380,851	380,851,000	17,982

(2) 地区別組合員概況表

(単位:円)

区 分	組合員数	口 数	組合員出資金総額	一人当組合員出資金額	
1.鶴甲第1地区	学生・院生	2,811	55,035	55,035,000	19,578
	教職員	61	344	344,000	5,639
2.六甲台地区	学生・院生	4,718	87,465	87,465,000	18,539
	教職員	73	744	744,000	10,192
3.文理農学部地区	学生・院生	4,403	86,088	86,088,000	19,552
	教職員	1,049	7,796	7,796,000	7,432
4.工学部地区	学生・院生	3,222	62,055	62,055,000	19,260
	教職員	67	650	650,000	9,701

5.鶴甲第2地区	学生・院生 教職員	542 37	10,223 338	10,223,000 338,000	18,862 9,135
6.楠地区	学生・院生 教職員	1,186 137	23,180 1,632	23,180,000 1,632,000	19,545 11,912
7.名谷地区	学生・院生 教職員	967 13	19,141 125	19,141,000 125,000	19,794 9,615
8.深江地区	学生・院生 教職員	1,120 10	22,100 115	22,100,000 115,000	19,732 11,500
9.附属中等教育学校地区	学生・院生 教職員	723 41	3,615 205	3,615,000 205,000	5,000 5,000
合 計	学生・院生 教職員	19,692 1,488	368,902 11,949	368,902,000 11,949,000	18,734 8,030
総 計		21,180	380,851	380,851,000	17,982

3. 役員に関する事項

(1) 役員一覧

役 名	氏 名	担当	就 任 年 月 日	略 歴 等
理 事 長 (代表理事)	西野 友年		2009年5月27日	理学研究科教員 2019年5月より理事長
専 務 理 事 (代表理事)	坂本 安弘		2015年5月28日	2015年5月より専務理事
常 任 理 事	朴 鐘祐		2011年5月27日	人文学研究科教員 2020年5月より常任理事
〃	川崎 海音		2023年5月25日	農学部3年生
〃	飯田 陽向	学生委員会委員長	2024年5月23日	工学部2年生
〃	岡川 功	ショップ事業部長	2018年5月24日	生協職員 2018年5月より常任理事
理 事	向井 洋一		2013年5月27日	工学研究科教員
〃	横川 博一		2015年5月28日	大学推進機構教員
〃	石丸 幸勢		2015年5月28日	附属中等教育学校教員
〃	小澤 卓也		2020年5月30日	国際文化学研究科教員
〃	元井 直樹		2022年5月26日	海事科学研究科教員
〃	橋本 直人		2024年5月23日	人間発達環境学研究科教員
〃	宮田 祥羽		2022年5月26日	工学研究科研究生
〃	西田 駿		2023年5月25日	工学部4年生
〃	古橋 みのり		2023年5月25日	農学部4年生
〃	木下 幸喜		2024年5月23日	国際人間科学部3年生
〃	森本 紗代		2024年5月23日	国際人間科学部3年生
〃	黒岩 周平		2024年5月23日	経済学部3年生
〃	辻野 康生		2024年5月23日	経営学部3年生
〃	齋藤 春香		2024年5月23日	農学部3年生
〃	小川 晏奈		2024年5月23日	医学部保健学科3年生
〃	河元 峻		2025年5月29日	経済学部2年生
〃	尾形 瑞生		2025年5月29日	国際人間科学部2年生
〃	秋山 花音		2025年5月29日	経営学部2年生
〃	門田 輝		2025年5月29日	工学部2年生
〃	木村 祐一		2016年5月26日	生協職員
監 事	大谷 恭弘		2017年5月26日	工学研究科研究員
〃	大村 直人		2025年5月29日	工学研究科教員
〃	中出 麻紀		2024年5月23日	大学職員

(2) 役員賠償責任保険契約

当生協が 2025 年 3 月 17 日の理事会決議にて加入した役員賠償責任保険契約の内容の概要は以下の通りです。

保険名称	日本生協連の生協役員賠償責任保険（会社役員賠償責任保険）
保険契約者	日本生活協同組合連合会
保険期間	2025年4月1日～2026年4月1日
被保険者の範囲	当生協のすべての理事及び監事
保険契約の内容の概要	被保険者が役員としての業務につき行った行為（不作為を含む。）に起因して損害賠償請求がなされたことにより、被保険者が被る損害賠償金や争訟費用等を保証するもの。ただし、贈収賄などの犯罪行為や意図的に違法行為を行った役員自身の損害等は補償対象外とすることにより、役員等の職務の執行の適正性が損なわれないようにするための措置を講じている。保険料は全額当生協が負担する。

4. 職員数及びその増減その他の職員の状況

職員状況表

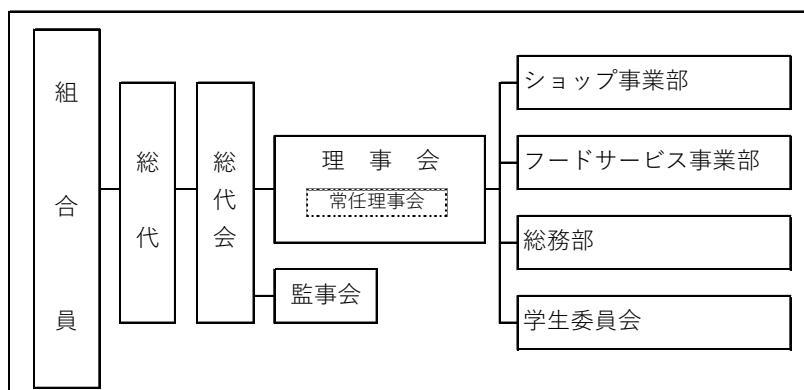
区 分		前期末数	当期末数	平均年齢 平均勤続年数
正規職員		18名	18名	43歳 11年
定時職員	時間数 (総数)	217,438時間 (233名)	217,637時間 (238名)	/
	正規換算数	109名	109名	

(注 1) 正規職員の総人数は、年間 2,000 時間をもって 1 名として換算しています。

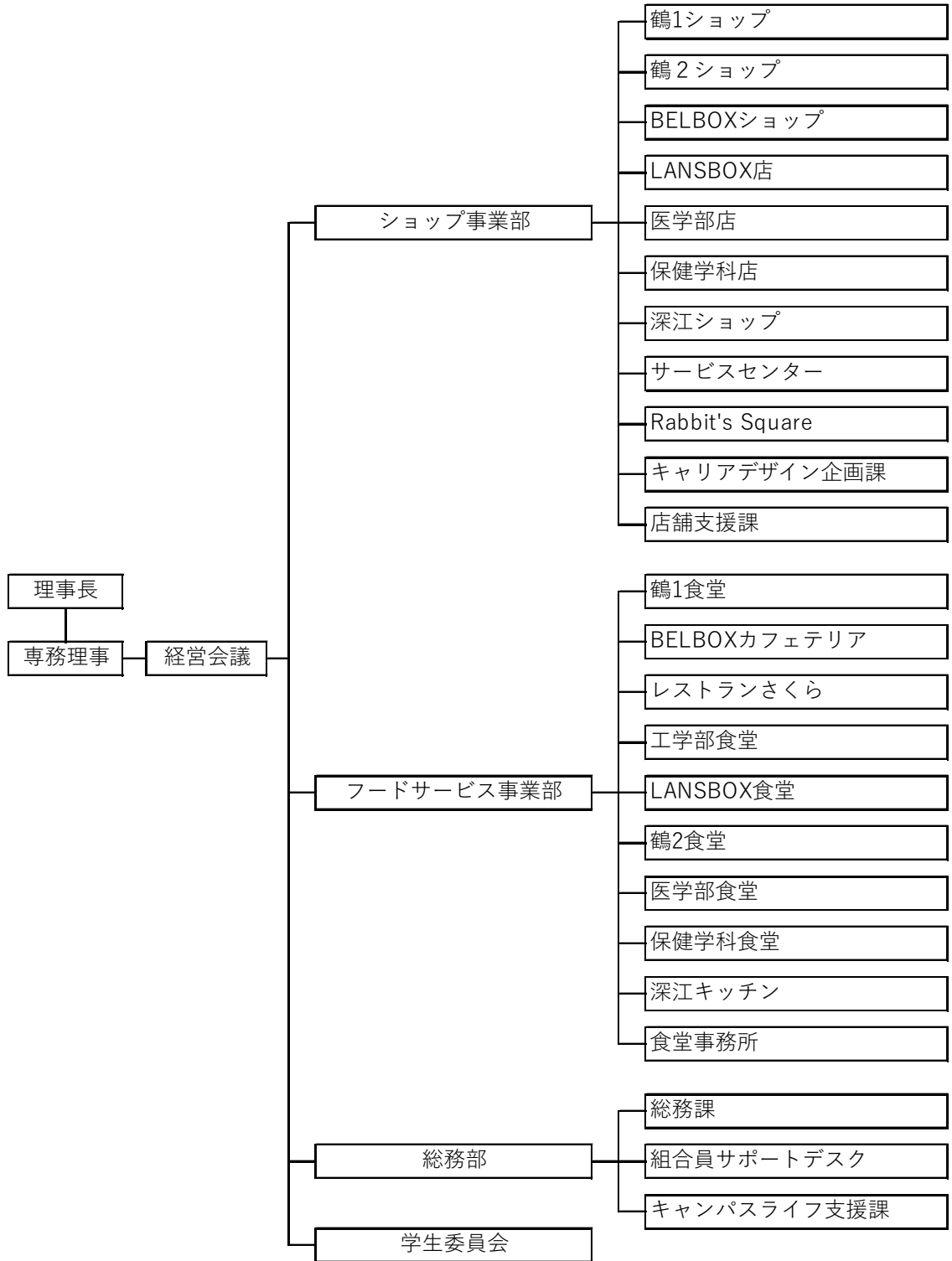
(注 2) 上表には出向受入者 1 名を含んでいません。

5. 業務の運営の組織に関する事項

(1) 運営組織図



(2) 経営組織図



6. 施設の設置状況に関する事項

施設一覧表

土地・建物は、国立大学法人神戸大学より無償にて使用許可頂いています。

この表では、当該施設の面積(単位 m²)と新営・増築、または改装の時期を示しています。

なお、食堂は厨房面積ではなく、食堂ホール部分も含めて表示しております。

施設名	所在地	面積 (m ²)	概要
1. 総務部	灘区鶴甲1-2-1	199.19	1987年 4月新営 2013年 9月改装
2. 食堂・喫茶・ショップ			
鶴1 食堂	灘区鶴甲1-2-1	960.0	1964年 3月新営 1994年 9月増築 2008年12月改装 2016年 9月改装 2024年11月改装 ※厨房の一部をベーカリー製造に改装
BELBOXカフェテリア	灘区六甲台町2-1	939.0	2003年 1月新営
レストランさくら	灘区六甲台町2-1	352.0	2003年 1月新営
工学部食堂	灘区六甲台町1-1	441.7	1973年 3月新営 2006年 2月改装 2014年 8月改装 2020年8月改装※1 ※工学部店をテイクアウト手作り弁当コーナーへ改装(50.7m ²)
LANSBOX食堂	灘区六甲台町1-1	533.0	1985年 4月新営 2016年 9月2階食堂改装
鶴2 食堂	灘区鶴甲3-11	378.0	1968年11月新営 2007年 3月改装 2008年12月改装 2021年 3月改装
医学部医学科食堂	中央区楠町7-12-1	701.0	1988年 4月新営 2010年 6月移転 2023年 6月移転
医学部保健学科食堂	須磨区友が丘7-10-2	240.0	1984年 4月新営 2021年 4月改装
滝川記念学会館食堂	灘区六甲台町1-1	190.0	1991年10月新営 2023年 9月閉店
深江キッチン	東灘区深江南町5-1-1	224.0	2003年10月新営 2021年 7月改装
鶴1 ショップ	灘区鶴甲1-2-1	406.64	1964年 3月新営 1979年11月増築 2008年 8月改装
サービスセンター	灘区鶴甲1-2-1	82.69	1964年 3月新営 1996年 9月増築 2008年12月改装
BELBOXショップ	灘区六甲台町2-1	667.22	2003年 1月新営 2022年 8月増設※2 ※学生会館店を事業併合(321.3m ²)
LANSBOX店	灘区六甲台町1-1	132.82	1985年 4月新営 2005年 9月改装 2006年 9月改装 2011年 2月改装 2012年 9月改装
鶴2 ショップ	灘区鶴甲3-11	68.04	1968年11月新営 1982年10月改装 2007年 3月改装 2008年12月改装
医学部医学科店	中央区楠町7-12-1	100.0	1988年 4月新営 2010年 8月改装 2023年 6月移転
医学部保健学科店	須磨区友が丘7-10-2	48.75	1984年 4月新営 2010年12月改装 2021年 4月改装
深江ショップ	東灘区深江南町5-1-1	107.8	2003年10月新営 2021年 7月改装
Rabbit's Square	東灘区住吉山手5-11-1	25.28	2014年10月新営 2015年 4月営業開始 2024年8月移転
3. 倉庫			
書類倉庫	灘区鶴甲1-2-1	45.13	2002年10月新設

7. 子会社等及び関連法人等の状況に関する事項

該当する事項はありません

8. 事業連合に関する事項

(1) 事業連合の概要

区分	関連法人等
会社名	生活協同組合連合会大学生協事業連合
所在地	東京都杉並区和田3-30-22
代表者氏名	理事長 榎澤 能生
設立年月日	1969年10月1日創立、同年12月19日都知事認可
事業内容	(1)会員の事業に必要な物資を購入し、これに加工もしくは加工しない (2)会員の組合員の生活に有用な協同施設を設置し、会員及び会員の組 (3)会員の組合員の生活の改善及び文化の向上を図るために必要な行事 (4)会員、会員の組合員及び役職員並びにこの会の役職員の組合事業に (5)会員の組合員のための宅地建物取引業法に基づく宅地建物取引業 (6)会員の組合員のための旅行業法に基づく旅行業に関する事業 (7)会員の組合員のための古物営業法に基づく古物営業に関する事業 (8)会員の利用に供する計算、運搬に関する事業 (9)会員の事業の支援、連絡並びに調整に関する事業 (10)前各号の事業に附帯する事業
設立の理由	協同互助の精神に基づき、全国大学生生活協同組合連合会と提携し大学生生活協同組合の協同事業の中心として事業活動ならびに各種活動を行って会員事業の発展をはかり会員組合員の生活の経済的文化的向上をはかることを目的として設立されました。
出資金及び総口数	出資金 4,899,690千円 総口数 489,969口
当組合の出資額及び口数	出資金 63,100千円 総口数 6,310口
決算月日	2026年2月28日
主な出資生協	全国大学生生活協同組合連合会 800,000千円
	東京大学消費生活協同組合 183,080千円
	立命館生活協同組合 158,190千円
	京都大学生生活協同組合 140,310千円
	東北大学生生活協同組合 136,660千円
	その他184大学生生活協同組合 3,481,450千円

(2) 事業連合の決算概況

(単位：千円)

資産・負債・純資産の状況		
法 人 名	生活協同組合連合会大学生協事業連合	
科目\決算期	2026年2月28日 (59期)	
資 産 の 部	流 動 資 産	33,299,501
	固定資産	7,526,231
	資産合計	40,825,732
負 債 の 部	流動負債	36,077,941
	固定負債	1,764,140
	負債合計	37,842,081
純 資 産 の 部	出資金	4,899,690
	剰余金	△ 1,916,039
	評価・換算差額等	-
	純資産合計	2,983,650
負債及び純資産合計		40,825,732

(注) 上記貸借対照表は、当事業報告書作成時点では大学生協事業連合は総会の議決を経ていませんので確定しておりませんが、事業連合代表理事から示された決算関係書類に基づいて記載しています

(3) 事業連合の損益状況(決算期：2026年2月28日)

(単位：千円)

損益の状況	
科目\決算期間	2025年3月1日～2026年2月28日
供給高	93,646,504
供給剰余金	1,924,368
事業剰余金	308,182
経常剰余金	443,777
当期剰余金	422,988
当期末処分剰余金	△ 1,916,039

(注) 上記損益計算書は、当事業報告書作成時点では大学生協事業連合は総会の議決を経ていませんので確定しておりませんが、事業連合代表理事から示された決算関係書類に基づいて記載しています

(4) 事業連合との取引等の状況

(単位：円)

区 分	経常収益		経常費用		その他取引		
	供給高	その他	仕入高	その他	収 益	費 用	その他
大学生協事業連合	0	0	1,457,524,273	131,143,678	0	0	0
対取引高率 (%)			94.4				

9. その他組合の組織運営の状況に関する重要な事項

(1) 当組合の内部統制に関する基本方針(2023年10月27日開催 第5回理事会)

神戸大学生協は、組合員と大学の期待に応え、さらなるキャンパスライフの向上を目指すために事業・活動を行います。この前提として、神戸大学生協は「業務の有効性及び効率性」「財務報告の信頼性」「事業活動に関わる法令等の遵守」「資産の保全」の4つの目的を達成するために必要な内部統制の整備に関する基本方針(以下「基本方針」)を次の通り定めます。

1. 理事・委員及び職員の職務の執行が、法令・定款などに適合することを確保します
2. 損失の危険の管理を行います
3. 財務報告を適正に作成します
4. 理事・委員及び職員の職務の執行が効率的に行われるようにします

これを受けて専務理事が「内部統制上の2025年度課題」を定め、課題や実施状況などを理事会に報告し、これを理事が監督しています。

III その他組合の状況に関する重要な事項

該当する事項はありません。

2025年度 事業報告書の附属明細書

2025年3月1日から2026年2月28日まで

作成 2026年3月25日
備付 2026年5月1日

兵庫県神戸市灘区六甲台町
神戸大学生生活協同組合
理事長 西野 友年

1. 役員報酬等の状況

役員報酬明細

区 分	定款上の定員(人)	支払人数(人)	報酬等支払額	摘 要
理 事	20~25 人	1 名	8,594,196 円	理事報酬の限度額：1,000 万円
監 事	3~5 名	0 名	0 円	
合 計	23~30 人	1 名	8,594,196 円	

2. 役員と他の法人等の業務執行者兼務状況

区 分	常勤・非常勤の別	代表権の有無	氏 名	兼務先名	兼務先での役職名
理 事	常 勤	有	坂本 安弘	株式会社コープリビングサービス	取締役
	”	”	”	神戸親和大学生生活協同組合	専務理事
	”	”	”	兵庫県生活協同組合連合会	理 事
	”	”	”	一般社団法人ひょうご大学生支援機構	”
理 事	非常勤	無	木村 祐一	神戸親和大学生生活協同組合	理 事

3. 組合と役員との間の利益が相反する取引の明細

該当する事項はありません。

4. 事業連合に関する事項

事業連合に対する債権・債務明細表

①債権明細表

(単位:円)

区 分	短期債権			長期債権		
	期首残高	期末残高	当期増減額	期首残高	期末残高	当期増減額
大学生協事業連合	5,473,360	28,786,879	23,313,519	0	0	0

②債務明細表

(単位:円)

区 分	短期債権			長期債権		
	期首残高	期末残高	当期増減額	期首残高	期末残高	当期増減額
大学生協事業連合	158,333,665	149,292,423	△ 9,041,242	0	0	0

5. その他事業報告書の内容を補足する重要な事項

開示すべき重要な事項はありません。

202年度 決算関係書類

2025年3月1日から2026年2月28日まで

作成 2026年3月25日
備付 2026年5月1日

兵庫県神戸市灘区六甲台町
神戸大学生協同組合
理事長 西野 友年

1. 貸借対照表

貸 借 対 照 表
(2026年2月28日現在)

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流 動 資 産	627,587,241	流 動 負 債	482,100,205
現 金 預 金	315,936,957	買 掛 金	145,756,360
供 給 未 収 金	74,372,903	未 払 金	52,250,118
商 品 及 び 原 材 料	202,188,187	未 払 法 人 税 等	1,023,000
立 替 金	591,211	未 払 消 費 税 等	9,462,600
前 払 費 用	3,428,609	未 払 費 用	6,285,750
未 収 金	31,812,374	前 受 金	159,578,266
貸 倒 引 当 金	△ 743,000	預 り 金	98,735,378
固 定 資 産	124,923,428	賞 与 引 当 金	8,236,100
有 形 固 定 資 産	36,969,788	ポ イ ン ト 引 当 金	772,633
建 物 及 び 附 属 設 備	59,661,030	固 定 負 債	51,551,267
減 価 償 却 累 計 額	△ 57,732,144	退 職 給 付 引 当 金	45,179,094
構 築 物	2,935,180	役 員 退 職 給 与 引 当 金	6,372,173
減 価 償 却 累 計 額	△ 2,924,872		
車 両 運 搬 具	12,885,904	負 債 合 計	533,651,472
減 価 償 却 累 計 額	△ 12,351,994		
器 具 備 品	227,069,996	(純 資 産 の 部)	
減 価 償 却 累 計 額	△ 192,573,312	組 合 員 資 本	
無 形 固 定 資 産	3,998,640	出 資 金	380,851,000
ソ フ ト ウ エ ア	1,011,776	剰 余 金	
電 話 加 入 権	2,986,864	当 期 未 処 理 損 失 金	161,991,803
そ の 他 固 定 資 産	83,955,000	(うち 当 期 損 失 金)	(12,252,498)
関 係 団 体 等 出 資 金	81,890,000		
長 期 保 有 有 価 証 券	15,000	純 資 産 合 計	218,859,197
差 入 保 証 金	2,050,000		
資 産 合 計	752,510,669	負 債 ・ 純 資 産 合 計	752,510,669

2. 損益計算書

損 益 計 算 書
(自 2025 年 3 月 1 日 至 2026 年 2 月 28 日)

(単位:円)

科 目	金	額
供給事業		
供給高	2,123,765,939	
供給値引	20,890,683	2,102,875,256
供給原価		
期首商品棚卸高	185,269,473	
仕入高	1,543,997,945	
期末商品棚卸高	202,188,187	1,527,079,231
供給剰余金		575,796,025
その他事業収入		
共済受託手数料収入	23,316,648	
教育文化事業収入	629,893	
供給事業手数料収入	649,308	
不動産賃貸収入	3,192,179	
その他手数料収入	131,700,052	159,488,080
事業総剰余金		735,284,105
事業経費		
人件費	482,510,660	
物件費	299,230,488	781,741,148
事業損失金		46,457,043
事業外収益		
受取利息	839,379	
受取配当金	25,000	
雑収入	12,436,238	
出資金整理益	18,750,000	32,050,617
事業外費用		
雑損失	1,459,653	1,459,653
経常損失金		15,866,079
特別利益		
その他特別利益	4,900,000	4,900,000
特別損失		
固定資産除却損	129,765	129,765
税引前当期損失金		11,095,844
法人税等		1,156,654
当期損失金		12,252,498
当期首繰越損失金		149,739,305
当期未処理損失金		161,991,803

3. 損失処理案

2025 年度損失処理案

(単位：円)

項 目	金 額
I 当期末処理損失金	161,991,803
II 次期繰越損失金	161,991,803

2026 年 5 月 28 日

神戸大学生生活協同組合

注 記

4. 個別注記表

この決算関係書類は、中小企業の会計に関する指針によって作成されています。

1. 重要な会計方針にかかる事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法は以下のとおりです。

棚卸資産の評価基準及び評価方法

【商品】	書籍・購買	売価還元法による原価法
	食堂(食材)	最終仕入原価法による原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法は以下のとおりです。

①有形固定資産	定率法	主な 耐用 年数	建物	7年～50年
1998年4月1日以後に取得した建物及び2016年4月1日以後に取得した建物附属設備・構築物については定額法			建物附属設備	3年～18年
			構築物	5年～14年
			器具備品	2年～20年
			車両運搬具	2年～7年
②無形固定資産	定額法	ソフトウェアは利用期間(5年)に基づく定額法		

(3) 引当金の計上基準は下記の通りです。

①貸倒引当金	債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権は法人税法に定める一括評価金銭債権に係る繰入率による繰入限度相当額、及び貸倒懸念債権については、回収可能性を検討して回収不能見込額を計上しています。
②賞与引当金	職員の賞与の支給に備えるため、支給見込み額の当期負担額を計上しています。
③ポイント引当金	供給促進をはかるために生協電子マネーシステムにて付与したポイントの期末における未使用残高を計上しています。
④退職給付引当金	退職給付会計に関する注記に記載しています。
⑤役員退職給与引当金	役員退職金の支給に備えるため、役員退職金規定による期末要支給額相当額を計上しています。

(4) 収益及び費用の計上基準

当組合の収益の主な内訳は、供給高、その他事業収入です。供給高は、組合員に対する商品またはサービスの引渡時点で計上しています。その他事業収入は、組合員に対する役務提供完了時点で収益を計上しています。

(5) その他決算関係書類の作成のための基本となる重要な事項は以下のとおりです。

消費税の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式を採用しています。

2. 損益計算書に関する注記

(1) 事業外損益の主な内訳は以下のとおりです。

①事業外収入

(単位:円)

受取利息		836,379	預金利息
受取配当金		25,000	出資配当金
雑収入	組合員出資金整理益	18,750,000	
	トレイ広告料	3,896,280	
	DM発送協力金	2,457,693	
	就活セミナー協力金	1,756,441	
	買掛金整理益	1,238,135	
	生協利用券未使用精算	871,451	
	2025年度MEAL PASS利用差額	804,291	
	障害者雇用調整給付金	400,000	
	共済普及援助金	279,541	
	貸倒引当金戻入益	215,000	
	段ボール等回収手数料	102,074	
	学生生活110番払込書作成補助	64,379	
	大学イベント協力金	39,273	
	復興特別源泉所得税還付	37,171	
	廃車に伴う自動車税還付	16,500	
	その他	258,009	

②事業外費用

(単位:円)

雑損失	出資金整理後返還金	567,016	
	買掛金整理損	381,129	
	消費税精算違算	285,437	
	買掛金消費税違算	163,188	
	商品廃棄ロス	33,658	
	その他	29,225	

(2) 特別損益の主な内訳は以下のとおりです。

(単位:円)

特別利益	キャリアアップ助成金	4,900,000	
特別損失	固定資産除却損	129,765	

(3) 法人税等には法人税、住民税、地方法人特別税、事業税が含まれています。

3. 退職給付会計に関する注記

(1) 退職給付債務の計上

職員の退職により支給する退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務(簡便法による期末自己都合退職要支給額を採用)及び年金資産の見込額をもとに計算した金額を退職給付引当金として計上しています。

(2) 採用する退職給付制度

正規職員の退職により支給する退職給付にあてるため、退職一時金制度、企業年金基金制度

を採用し、定時職員は退職一時金制度のみを採用しています。

(3) 簡便法を適用した制度の、退職給付引当金の期首残高と期末残高の調整表

退職給付引当金の期首残高	46,219,437円
退職給付費用	5,845,693円
退職給付の支払額	△ 2,247,750円
年金制度への拠出額	△ 2,464,000円
他生協への移籍支払額	△ 2,174,286円
退職給付引当金の期末残高	<u>45,179,094円</u>

(4) 退職給付債務及び年金資産と退職給付引当金の調整表

積立型制度の退職給付債務	78,667,894円
年金資産	△ 33,488,800円
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	<u>45,179,094円</u>
退職給付引当金	<u>45,179,094円</u>
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	<u>45,179,094円</u>

(5) 退職給付に関連する損益

簡便法で計算した退職給付費用	5,845,693円
----------------	------------

(6) 企業年金制度について

このほかに、職員については日生協企業年金基金に加入していますが、複数の事業主による総合設立型基金のため退職給付債務等は計上していません。

尚、複数事業主制度に関する事項は以下の通りです。

①制度全体の積立状況に関する事項

年金時価資産額	48,501,865,213円	(2026年2月末日)
数理債務	34,927,811,000円	(2025年3月末日)
差引額	13,574,054,213円	

②制度全体に占める当生協の掛金拠出割合(2026年2月分) 0.11099%

③補足説明

1) 基準日時点の数理債務は年金時価資産額の基準日時点まで増加し、差引額は減少するものと予想されます。

2) 過去勤務債務残高はありません。

3) 2024年度の繰越剰余金は12,051,499,953円です。

内訳は、別途積立金11,985,877,479円と責任準備金のうち、新財政運営基準により積み立てられた実質的な剰余金相当額の累計額は65,622,474円の合計額となります。

4. 金融商品に関する注記

(1) 金融商品の時価等に関する事項

2026年2月28日現在における当生協の貸借対照表計上額と時価の差額があるものはありません。なお、関係団体等出資金及び長期保有有価証券は、時価を把握することが極めて困難な市場価格のない株式等です。

5. 関連当事者との取引に関する注記

組合

(単位:円)

種類	法人等の 名称	資本金または 出資金	議決権 割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
関連法人	大学生協 事業連合	4,899,690,000	直接 0.52%	仕入先 役員兼任 0名	商品仕入	1,457,524,273	前渡金	0
					業務委託	60,515,000	買掛金	115,305,050
					経費仕入	54,223,578	未払金	33,987,373
					NR-G使用料	16,405,100	未収金	28,786,879

2025年度 決算関係書類の附属明細書

1. 組合員資本の明細

(単位:円)

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
組合員出資金	377,148,000	89,349,000	85,646,000	380,851,000	
当期末処分剰余金	△ 149,739,305	0	12,252,498	△ 161,991,803	
合 計	259,347,169	89,349,000	97,898,498	218,859,197	

2. 有形固定資産及び無形固定資産の明細

(単位:円)

資 産 の 種 類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	当期償却額	期末帳簿価額	減価償却累計額	期末取得原価
建 物	286,485	0	0	61,570	224,915	15,527,530	15,752,445
建物附属設備	1,981,750	0	0	277,779	1,703,971	42,204,614	43,908,585
構 築 物	30,662	0	0	20,354	10,308	2,924,872	2,935,180
車 両 運 搬 具	1,332,743	0	1	798,832	533,910	12,351,994	12,885,904
器 具 備 品	26,382,977	17,183,012	129,764	8,939,541	34,496,684	192,573,312	227,069,996
有形固定資産計	30,014,617	17,183,012	129,765	10,098,076	36,969,788	265,582,322	302,552,110
ソフトウェア	1,517,096		0	505,320	1,011,776		
電話加入権	2,986,864	0	0	0	2,986,864		
無形固定資産計	4,503,960	0	0	505,320	3,998,640		
合 計	34,518,577	17,183,012	129,765	10,603,396	40,968,428		

3. 関係団体等出資金の明細

(単位:円)

出 資 先	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
大学生協事業連合	63,100,000	0	0	63,100,000	
全国大学生協同組合連合会	15,840,000	0	0	15,840,000	
兵庫県生活協同組合連合会	100,000	0	0	100,000	
兵庫県の留学生を支える協同基	1,350,000	0	0	1,350,000	
株式会社HATA	15,000	0	15,000	0	管理科目変更
コープ共済連	1,000,000	0	0	1,000,000	
ひょうご大学生支援機構	500,000	0	0	500,000	
合 計	81,905,000	0	15,000	81,890,000	

4. 長期保有有価証券

(単位:円)

科 目	内 訳	期首残高	期末残高	備考
長期保有有価証券	株式会社HATA	0	15,000	管理科目変更
合 計		0	15,000	

5. 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
貸倒引当金	958,000		215,000	743,000	
賞与引当金	6,927,000	8,236,100	6,297,000	8,866,100	目的使用
ポイント引当金	464,023	308,610		772,633	
役員退職給与引当金	5,809,062	563,111		6,372,173	

退職給付引当金の明細については2025年度決算関係書類の4.個別注記事項 4.退職給付会計に関する注記を参照してください。

6. 事業経費の明細

(単位:円)

科 目	金 額
1. 人件費	
役員報酬	8,594,196
職員給与	95,857,368
定時職員給与	308,872,919
退職給付費用	5,845,693
法定福利費	46,454,028
厚生費	3,456,051
役員退職給与引当金繰入額	563,111
賞与引当金繰入額	8,236,100
派遣人件費	4,631,194
人件費合計	482,510,660
2. 物件費	
教育文化費	1,071,787
広報費	8,631,484
消耗品費	36,604,062
物流費	1,989,121
車両運搬費	11,439,092
ポイント引当金繰入額	308,610
施設維持管理費	21,968,765
減価償却費	10,603,396
賃借料	2,341,577
水道光熱費	42,318,164
保険料	1,620,120
委託料	56,716,175
研修採用費	4,018,250
調査研究費	322,368
会議費	902,833
諸会費	7,676,522
渉外費	179,602
租税公課	595,500
通信交通費	14,174,876
雑費	15,233,184
事業連合委託費	60,515,000
物件費合計	299,230,488
事業経費合計	781,741,148

7. 事業の種類ごとの損益の明細及び事業別事業経費明細

事業は供給のみのため、事業の種類ごとの損益の明細及び事業別事業経費明細は、損益計算書及び事業経費の明細と同じです。

8. キャッシュ・フロー計算書

間接法

自 2025 年 3 月 1 日 至 2026 年 2 月 28 日

(単位:円)

Ⅰ 事業活動によるキャッシュフロー	
税引前当期剰余金	△ 11,095,844
減価償却費	10,603,396
貸倒引当金の増減額	△ 215,000
賞与引当金の増減額	1,309,100
退職給付引当金の増減額	△ 1,040,343
役員退職給与引当金の増減額	563,111
受取利息および受取配当金	△ 864,379
固定資産除却損	129,765
供給債権の増減額	21,501,019
棚卸資産の増減額	△ 16,918,714
その他流動資産の増減	△ 24,235,585
仕入債務の増減額	△ 44,342,924
未払消費税等の増減額	△ 14,422,300
未払金・未払費用の増減	34,947,445
前受金・預り金等の増減	38,273,750
ポイント引当金の増減	308,610
小計	△ 5,498,893
利息および配当金等の受取額	864,379
法人税等の支払額	△ 1,156,654
事業活動によるキャッシュフロー	△ 5,791,168
Ⅱ 投資活動によるキャッシュフロー	
固定資産の取得による支出	△ 17,183,012
投資活動によるキャッシュフロー	△ 17,183,012
Ⅲ 財務活動によるキャッシュフロー	
組合員出資金の増減額	3,703,000
財務活動によるキャッシュフロー	3,703,000
Ⅳ 現金及び現金同等物の増減額	△ 19,271,180
Ⅴ 現金及び現金同等物期首残高	305,208,137
Ⅵ 現金及び現金同等物期末残高	285,936,957

(注) 現金及び現金同等物の範囲

(単位:円)

項 目	期 首	期末
現金及び預金	335,208,137	315,936,957
預入期間が3か月を超える定期預金	△ 30,000,000	△ 30,000,000
現金及び現金同等物	305,208,137	285,936,957

9. 主要な事業に関わる資産及び負債の内容その他の決算関係書類の内容を補足する重要な事項

(1) 主な資産の内容

①現金預金の明細

(単位:円)

科目	内 訳	期首残高	期末残高	当期増減額
現金預金	現 金	20,792,501	18,791,740	△ 2,000,761
	当 座 預 金	108,896,046	109,880,276	984,230
	普 通 預 金	175,519,590	157,264,941	△ 18,254,649
	定 期 預 金	30,000,000	30,000,000	0
合 計		335,208,137	315,936,957	△ 19,271,180

②供給未収金の明細

イ. 内訳

(単位:円)

相手先	金額
校費・私費未収金	51,773,695
電子マネー(クレジットチャージ)	19,241,000
クレジット未収金	3,078,608
電子マネー(コンビニチャージ)	236,000
その他	43,600
合 計	74,372,903

ロ. 回収状況

(単位:円)

期首残高	当期発生高	当期回収高	期末残高	回収率
59,490,029	571,503,136	579,219,470	51,773,695	91.8%

(注) 校費・私費未収金のみの回収率です。

③商品の明細

(単位:円)

科目	内 訳	金 額
商 品	一般商品(物品)	152,354,795
	書 籍	44,841,349
	食 材	4,917,462
	サ ー ビ ス	74,581
合 計		202,188,187

④立替金の明細

(単位:円)

内 訳	金 額
青山商事DM発送費用	331,500
職員治療費一時立替	170,000
職員割賦支払い	73,300
その他	16,411
合 計	591,211

⑤前払費用の明細

(単位:円)

内 訳	金 額
新学期費用	3,131,749
日生協経営リスク保険	140,000
日生協総合賠償責任保険	116,930
兵庫県生活協同組合連合会3月会費	33,000
その他	6,930
合 計	3,428,609

⑥未収金の明細

(単位:円)

内 訳	金 額
大学生協事業連合	28,786,879
還付税金(所得税年末調整)	989,217
自動販売機供給	958,348
神戸大学	363,203
出向職員給与(神戸親和大学生協)	335,800
ウェルカムズ(就活サポート費用)	156,710
住まい紹介冊子広告料	154,000
ゆうちょ銀行	65,544
図書券・図書カード	2,673
合 計	31,812,374

⑦差入保証金の明細

(単位:円)

差 入 先 (内 訳)	金 額
全国旅行業協会(弁済業務保証金分担金)	600,000
兵庫県宅建協会(弁済業務保証金分担金)	900,000
日本交通公社(トリップス端末)	500,000
日本図書普及(図書券)	20,000
日本図書普及(図書カード端末機)	30,000
合 計	2,050,000

(2) 主な負債の内容

①買掛金の明細

(単位:円)

相 手 先	金 額
大学生協事業連合	115,305,050
ポートピアホテル他12件(受験宿泊)	22,028,417
Amazon	1,215,227
クラシコ	319,575
マイクロソフト	291,517
伊藤ハム	58,145
サンアロー	101,090
その他	6,437,339
合 計	145,756,360

②未払金の明細

(単位:円)

内 訳	金 額
大学生協事業連合	33,987,373
神戸大学	4,953,140
定時職員退職金	2,247,750
灘郵便局	1,642,274
大阪ガス	747,731
ナガタ商会	588,544
東海興商	495,660
リコージャパン	425,578
佐川急便	361,962
アサヒセキュリティ	347,600
ケーオー商会	324,782
アステージ	258,489
ソフトバンクテレコム	227,844
日生協第2年金基金	201,040
三井住友銀行	190,575
三井住友VISAカード	185,459
SRC	154,454
エイジス	142,393
エスケー石鯨	139,425
西日本クリーンエイド	138,600
メイスイ	105,600
アセットインベントリー	99,000
兵庫県立大学生協	90,096
ユニマツト	89,963
エネオス	83,852
マイナビ	77,000
S E C O M	75,900
その他	3,868,034
合 計	52,250,118

③未払法人税等の明細

(単位:円)

内 訳	金 額
県民税	143,000
市民税	880,000
合 計	1,023,000

④未払消費税の明細

(単位:円)

内 訳	金 額
未払消費税	9,462,600
合 計	9,462,600

⑤未払費用の明細

(単位:円)

内 訳	金 額
職員給与未払費用(2月)	6,285,750
合 計	6,285,750

⑥前受金の明細

(単位:円)

内 訳	金 額
電子マネー	78,350,171
組合員商品代金等	55,972,895
MEAL PASS申込金	25,110,200
新入生歓迎冊子協賛	145,000
合 計	159,578,266

⑦預り金の明細

(単位:円)

内 訳	金 額
未返還組合員出資金	73,260,000
新入生出資金等	11,500,189
組合員 (共済掛金)	5,846,350
組合員 (アルバム申込金)	4,998,000
2025年度MEAL PASS未使用返金	2,621,743
組合員 (学生110番)	119,400
組合員 (下宿敷金家賃等)	146,000
大学生協アプリ未使用電子マネー	144,631
その他	99,065
合 計	98,735,378

(3) 比較貸借対照表及び比較損益計算書

① 比較貸借対照表

(2026年2月28日現在)

(単位:円)

資産の部	2024年度	2025年度	負債・純資産の部	2024年度	2025年度
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	626,990,141	627,587,241	流動負債	466,026,524	482,100,205
現金預金	335,208,137	315,936,957	買掛金	190,099,284	145,756,360
供給未収金	95,873,922	74,372,903	未払金	16,616,225	52,250,118
商品及び原材料	185,269,473	202,188,187	未払法人税等	1,023,000	1,023,000
立替金	435,761	591,211	未払消費税等	23,884,900	9,462,600
前払費用	2,312,406	3,428,609	未払費用	6,972,198	6,285,750
未収金	8,848,442	31,812,374	前受金	115,570,193	159,578,266
貸倒引当金	△ 958,000	△ 743,000	預り金	104,469,701	98,735,378
			賞与引当金	6,927,000	8,236,100
固定資産	118,473,577	124,923,428	ポイント引当金	464,023	772,633
有形固定資産	30,014,617	36,969,788	固定負債	52,028,499	51,551,267
建物及び構築物	59,661,030	59,661,030	退職給付引当金	46,219,437	45,179,094
減価償却累計額	△ 57,392,795	△ 57,732,144	役員退職給与引当金	5,809,062	6,372,173
	2,268,235	1,928,886			
構築物	2,935,180	2,935,180	負債合計	518,055,023	533,651,472
減価償却累計額	△ 2,904,518	△ 2,924,872			
	30,662	10,308	(純資産の部)		
車両運搬具	13,658,804	12,885,904	組合員資本	377,148,000	380,851,000
減価償却累計額	△ 12,326,061	△ 12,351,994	出資金	377,148,000	380,851,000
	1,332,743	533,910			
器具備品	214,207,960	227,069,996	剰余金	△ 149,739,305	△ 161,991,803
減価償却累計額	△ 187,824,983	△ 192,573,312	当期末処分剰余金	△ 149,739,305	△ 161,991,803
	26,382,977	34,496,684	(うち当期剰余金)	(△ 31,328,474)	(△ 12,252,498)
無形固定資産	4,503,960	3,998,640			
ソフトウェア	1,517,096	1,011,776			
電話加入権	2,986,864	2,986,864			
その他固定資産	83,955,000	83,955,000			
関係会社等出資	81,905,000	81,890,000			
長期保有有価証券	0	15,000			
差入保証金	2,050,000	2,050,000	純資産合計	227,408,695	218,859,197
資産合計	745,463,718	752,510,669	負債・純資産合計	745,463,718	752,510,669

② 比較損益計算書

(単位:円)

勘定科目	2024年度実績	2025年度予算	2025年度実績	対前年増減額	対予算差異
供給高	2,044,752,317	2,166,934,000	2,123,765,939	79,013,622	△ 43,168,061
供給値引	21,234,314	23,919,000	20,890,683	△ 343,631	△ 3,028,317
純供給高	2,023,518,003	2,143,015,000	2,102,875,256	79,357,253	△ 40,139,744
期首商品棚卸高	225,294,599	0	185,269,473	△ 40,025,126	185,269,473
仕入高	1,452,920,678	1,593,287,000	1,543,997,945	91,077,267	△ 49,289,055
期末商品棚卸高	185,269,473	0	202,188,187	16,918,714	202,188,187
供給剰余金	530,572,199	549,728,000	575,796,025	45,223,826	26,068,025
共済受託手数料収入	22,966,334	24,270,000	23,316,648	350,314	△ 953,352
教育文化事業収入	872,076	534,000	629,893	△ 242,183	95,893
供給事業手数料収入	660,320	344,000	649,308	△ 11,012	305,308
不動産賃貸収入	2,011,814	2,870,000	3,192,179	1,180,365	322,179
その他手数料収入	127,153,481	131,925,000	131,700,052	4,546,571	△ 224,948
その他事業収入	153,664,025	159,943,000	159,488,080	5,824,055	△ 454,920
事業総剰余金	684,236,224	709,671,000	735,284,105	51,047,881	25,613,105
役員報酬	9,386,284	9,120,000	8,594,196	△ 792,088	△ 525,804
職員給与	83,950,639	94,201,000	95,857,368	11,906,729	1,656,368
定時職員給与	297,953,851	319,899,000	308,872,919	10,919,068	△ 11,026,081
退職給付費用	4,696,454	5,520,000	5,845,693	1,149,239	325,693
法定福利費	42,026,734	46,495,000	46,454,028	4,427,294	△ 40,972
厚生費	3,423,811	2,847,000	3,456,051	32,240	609,051
役員退職給与引当金繰入	565,264	780,000	563,111	△ 2,153	△ 216,889
賞与引当金繰入額	6,927,000	7,000,000	8,236,100	1,309,100	1,236,100
派遣人件費	4,377,534	4,515,000	4,631,194	253,660	116,194
人件費合計	453,307,571	490,377,000	482,510,660	29,203,089	△ 7,866,340
教育文化費	1,780,368	1,446,000	1,071,787	△ 708,581	△ 374,213
広報費	8,574,177	8,728,000	8,631,484	57,307	△ 96,516
消耗品費	35,710,795	31,262,000	36,604,062	893,267	5,342,062
物流費	1,850,880	1,929,000	1,989,121	138,241	60,121
車両運搬費	10,890,471	10,598,000	11,439,092	548,621	841,092
貸倒引当金繰入	0	0	0	0	0
ポイント引当金繰入	132,824	0	308,610	175,786	308,610
施設維持管理費	20,664,279	16,904,000	21,968,765	1,304,486	5,064,765
減価償却費	8,829,606	7,956,000	10,603,396	1,773,790	2,647,396
賃借料	2,493,104	2,740,000	2,341,577	△ 151,527	△ 398,423
水道光熱費	39,021,190	39,313,000	42,318,164	3,296,974	3,005,164
保険料	1,724,000	1,725,000	1,620,120	△ 103,880	△ 104,880
委託料	55,571,852	54,304,000	56,716,175	1,144,323	2,412,175
研修採用費	5,019,463	4,993,000	4,018,250	△ 1,001,213	△ 974,750
調査研究費	395,028	361,000	322,368	△ 72,660	△ 38,632
会議費	740,296	626,000	902,833	162,537	276,833
諸会費	7,442,771	7,303,000	7,676,522	233,751	373,522
渉外費	204,296	188,000	179,602	△ 24,694	△ 8,398
租税公課	510,900	552,000	595,500	84,600	43,500
通信交通費	11,184,875	10,634,000	14,174,876	2,990,001	3,540,876
雑費	14,938,199	14,734,000	15,233,184	294,985	499,184
事業連合委託費	56,726,000	59,967,000	60,515,000	3,789,000	548,000
物件費合計	284,405,374	276,263,000	299,230,488	14,825,114	22,967,488
事業経費合計	737,712,945	766,640,000	781,741,148	44,028,203	15,101,148
事業剰余金	△ 53,476,721	△ 56,969,000	△ 46,457,043	7,019,678	10,511,957
受取利息	207,425	39,000	839,379	631,954	800,379
受取配当金	25,000	20,000	25,000	0	5,000
雑収入	12,721,029	11,610,000	12,436,238	△ 284,791	826,238
出資金整理益	10,265,000	10,000,000	18,750,000	8,485,000	8,750,000
事業外収益	23,218,454	21,669,000	32,050,617	8,832,163	10,381,617
支払利息	0	0	0	0	0
雑損失	1,340,274	0	1,459,653	119,379	1,459,653
事業外費用	1,340,274	0	1,459,653	119,379	1,459,653
経常剰余金	△ 31,598,541	△ 35,300,000	△ 15,866,079	15,732,462	19,433,921
特別利益計	1,500,000	0	4,900,000	3,400,000	4,900,000
特別損失計	170,062	0	129,765	△ 40,297	129,765
税引前当期剰余金	△ 30,268,603	△ 35,300,000	△ 11,095,844	19,172,759	24,204,156
法人税等	1,059,871		1,156,654	96,783	1,156,654
当期剰余金	△ 31,328,474		△ 12,252,498	19,075,976	△ 12,252,498
当期首繰越剰余金	△ 118,410,831		△ 149,739,305	△ 31,328,474	△ 149,739,305
当期末処分剰余金	△ 149,739,305		△ 161,991,803	△ 12,252,498	△ 161,991,803

参考資料

2025 年度 内部統制整備の理事会議決に基づく行動計画評価

※2024 年度第 10 回理事会(2025 年 3 月 17 日開催)にて行動計画を設定し、2025 年度第 9 回理事会(2026 年 2 月 18 日開催)にて評価を議決しました。

2025 年度の内部統制行動計画	評価	備 考
1. 理事・委員及び職員の職務の執行が、法令・定款などに適合することを確保します		
理事会・代表理事は、法令や定款の遵守が重要であり、経済的利益に優先することを自覚して、常にこの立場で意思決定・業務執行に当たります。	○	第 1 回理事会にて理事会規則等を説明。また各審議承認事項提案時に説明する。
2. 損失の危険の管理を行います		
理事会は、危機管理規則(2024 年 9 月 24 日制定)に基づき、想定される代表的な危機(自然災害や感染症の蔓延等)に際しては適切に備えます。	○	2025 年度は対象となる事象は発生していません。
食中毒・個人情報事故を発生させると組合員にも大きな損害が及ぶことを自覚し、理事会で専務理事からこの危機への対処状況の報告を受け確認します。	○	2025 年度は対象となる事象は発生していません。
3. 財務報告を適正に作成します		
理事会は、当期の損益状況が剰余金あるいは損失金に関わらず、適正な財務報告を作成することが理事会の責務と確認します。	○	各理事会において事業部報告ならびに決算報告を行う。 総代会議案書ならびに事業報告書をホームページにて公開する。
専務理事は、損失隠し・不良資産隠しは法令違反であり、組合員への背信行為だと自覚し常に適正な財務報告をまとめ理事会に提案する姿勢を堅持します。	○	12 月に公認会計士の調査を実施しました。助言事項を適切に処理し、理事会に報告しました。
専務理事は、在庫・未収金・買掛金・預り金・出資金・固定資産などで実態と帳簿残高の差異が生じやすいことを踏まえ、職員と適切に分担して実態を帳簿残高に表現するように努めます。また、職員に対し少なくとも毎年の決算の前(12-1 月)に 1 回以上、決算書に表現していない不良在庫・未収金等を正しく処理することを指示します。	○	12 月・1 月の各事業部会議にて精査を行う。 大学生協連作成の内部統制チェックリストにて業務の確認を行う。
専務理事は、法令に基づきこれらの書類を作成し、理事会に提案します。	○	
4. 理事・委員及び職員の職務の執行が効率的に行われるようにします		
理事会は、理事会規則に基づき年 12 回程度開催し、必要な事項を文書または口頭にて簡潔に報告し、理事会で議決すべき事項をもれなく決するほか、そのときどきの状況に応じた重要な事項について時間をとって協議し必要な意思決定を行います。	○	

<p>専務理事は、自らの重点や各役職者の分担等が適切か、精選する業務は何か、新しい課題を実行するために適切な配置がされているか、従来専務理事や正規職員が担当してきた業務のうち新たにパートタイマーに担わせる業務は何か等に十分な関心を払い、特に新年度の事業計画を検討する際にこれを文章化して理事会に報告します。</p>	○	
<p>専務理事及び各職員は、店舗等での現在の作業方法・分担・作業環境・各作業に要する時間・日々の稼働計画等を当然だと考えず、意思と目標を持って改善をすすめ、経営効率を高め続けます。</p>	○	<p>各事業会議にて検討し、都度理事会にて協議を行いました。</p>
<p>専務理事及び各職員は、「神戸大学職員行動指針」を確認し、それに基づく事業・活動を行うことでより高い成果を上げられることを確信し、努力を重ねるよう努めます。</p>	○	

2026年度 内部統制計画

2025年度第9回理事会(2026年2月18日開催)にて議決しました。

1. 理事・委員及び職員の職務の執行が、法令・定款などに適合することを確保します。
 - 理事会・代表理事は、法令や定款の遵守が重要であり、経済的利益に優先することを自覚して、常にこの立場で意思決定・業務執行に当たります。
2. 損失の危険の管理を行います。
 - 理事会は、危機管理規則に基づき、想定される代表的な危機(自然災害や感染症の蔓延等)に際しては適切に備えます。
 - 食中毒・個人情報事故を発生させると組合員にも大きな損害が及ぶことを自覚し、理事会で専務理事からこの危機への対処状況の報告を受け確認します。
3. 財務報告を適正に作成します
 - 理事会は、当期の損益状況が剰余金あるいは損失金に関わらず、適正な財務報告を作成することが理事会の責務と確認します。
 - 専務理事は、損失隠し・不良資産隠しは法令違反であり、組合員への背信行為だと自覚し常に適正な財務報告をまとめ理事会に提案する姿勢を堅持します。
 - 専務理事は、在庫・未収金・買掛金・預り金・出資金・固定資産などで実態と帳簿残高の差異が生じやすいことを踏まえ、職員と適切に分担して実態を帳簿残高に表現するように努めます。また、職員に対し少なくとも毎年の決算の前(12-1月)に1回以上、決算書に表現していない不良在庫・未収金等を正しく処理することを指示します。
 - 専務理事は、法令に基づきこれらの書類を作成し、理事会に提案します。
4. 理事・委員及び職員の職務の執行が効率的に行われるようにします。
 - 理事会は、理事会規則に基づき年12回程度開催し、必要な事項を文書または口頭にて簡潔に報告し、理事会で議決すべき事項をもれなく決するほか、そのときどきの状況に応じた重要な事項について時間をとって協議し必要な意思決定を行います。
 - 専務理事は、自らの重点や各役職者の分担等が適切か、精選する業務は何か、新しい課題を実行するために適切な配置がされているか、従来専務理事や正規職員が担当してきた業務の

うち新たにパートタイマーに担わせる業務は何か等に十分な関心を払い、特に新年度の事業計画を検討する際にこれを文章化して理事会に報告します。

- 専務理事及び各職員は、店舗等での現在の作業方法・分担・作業環境・各作業に要する時・日々の稼働計画等を当然だと考えず、意思と目標を持って改善をすすめ、経営効率を高め続けます。
- 専務理事及び各職員は、「神戸大学職員行動指針」を確認し、それに基づく事業・活動を行うことでより高い成果を上げられることを確信し、努力を重ねるよう努めます。
-

【神戸大学職員行動指針】

神戸大学生協、並びに生協スタッフはキャンパスコミュニティーの一員です。
以下の3項目を十分に理解し、組合員サービスに努めます。

1. C4C (Communication for Cross Function) ⇒ 対話による垣根撤回

スタッフは店舗運営が円滑に行えるように、コミュニケーションを意識し、スタッフ間の意見交換・情報共有を常に行う。

また、店舗・事業部・キャンパスに囚われず、ともにコミュニケーションのネットワークをもって組合員の利便性を向上させる。

2. A & A (Analyze and Act) ⇒ 分析と行動力

スタッフはキャンパスの特徴を捉え、常に組合員の要望を把握することに努める。また、組合員の要望に応えることができるように、収支を考慮しながら創意工夫をもって対応する。

3. f ~ F (The fan from The fun) ⇒ 楽しさからファンを

スタッフは組合員が利用し易く、来店することで「ワクワクする」「ホッとする」等が感じられる鮮度のある店舗作りを目指す。組合員の来店頻度の向上、購入点数増等、いっそうの利用の増加につながるように尽力する。



店舗別損益対比表

2025年3月1日～2026年2月28日

(単位：千円)

		供給高			供給剰余			事業総剰余			人件費		
		本年実績	前年差	予算差	本年実績	前年差	予算差	本年実績	前年差	予算差	本年実績	前年差	予算差
ショッピング事業部	鶴1	301,153	15,904	▲5,624	43,530	5,922	1,348	45,260	5,568	933	23,329	▲2,075	▲4,189
	医学部	177,793	▲7,514	▲9,152	18,316	▲20	▲2,359	22,997	▲790	▲3,141	18,425	568	90
	保健学科	19,279	▲230	▲2,333	3,658	47	▲613	3,658	18	▲641	2,690	168	▲47
	BELBOX	164,023	3,935	▲53,542	29,487	▲183	▲12,635	33,170	▲511	▲13,012	32,820	3,287	1,256
	鶴2	17,314	2,302	669	3,495	329	▲112	3,532	317	▲120	2,270	5	▲104
	キャリア	3,644	550	▲1,176	1,465	20	▲463	14,168	▲1,803	▲7,585	12,697	215	▲455
	深江	32,620	▲3,380	▲2,310	5,435	▲337	▲440	5,472	▲387	▲472	3,240	5	▲277
	サービスセンター	373,396	▲32,911	▲14,936	35,808	▲1,942	5,056	82,838	▲638	3,186	31,301	1,235	750
	LANSBOX	63,233	8,009	7,502	13,108	966	1,168	13,213	930	1,146	8,470	▲2,192	▲955
	学生会館	60,673	270	60,661	14,157	202	14,157	14,157	202	14,157	0	0	0
	ピエス	9,834	▲1,661	▲1,883	1,758	▲347	▲459	1,758	▲348	▲459	1,689	▲616	48
	店舗支援課	0	0	0	1	17	1	3,202	706	1,180	26,209	8,704	▲4,214
	キャパPC	231,045	47,280	▲31,033	38,099	13,619	▲3,353	65,886	17,333	2,623	12,051	1,152	1,006
ショッピング事業部計	1,454,006	32,553	▲53,158	208,315	18,292	1,294	309,308	20,599	▲2,208	175,192	10,457	▲7,090	
総務	総務部	▲17,324	0	0	▲17,329	353	3,496	41,123	3,882	6,500	64,802	▲199	▲1,291
	事業支援課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総務部計	▲17,324	0	0	▲17,329	353	3,496	41,123	3,882	6,500	64,802	▲199	▲1,291	
フードサービス事業部	鶴1	95,484	4,993	▲906	69,565	10,355	5,379	69,565	10,351	5,379	36,844	2,446	▲58
	BELBOX	76,974	11,045	5,896	45,862	6,892	6,298	45,864	6,894	6,300	28,757	3,043	472
	さくら	54,468	5,300	10,441	37,882	2,674	7,685	37,882	2,674	7,685	15,386	1,203	▲160
	工学部	204,892	11,604	▲6,602	105,633	2,689	▲1,513	105,636	2,685	▲1,510	62,484	7,251	774
	LANSBOX	93,382	7,587	1,060	48,625	2,470	1,157	48,625	2,467	1,157	27,952	2,626	24
	滝川会館	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	鶴2	17,306	▲601	1,288	8,771	▲669	606	8,771	▲670	606	6,326	▲202	▲260
	医学部	90,847	6,084	306	50,228	2,509	2,049	50,228	2,505	2,049	25,497	141	▲1,563
	保健学科	12,365	32	▲944	7,504	▲77	▲161	7,504	▲77	▲161	6,367	231	236
	深江	20,476	417	▲549	10,740	▲255	▲222	10,740	▲256	▲222	7,024	▲197	▲480
	食堂事務所	0	0	0	0	0	0	38	3	38	25,880	2,404	1,530
	フードサービス事業部計	666,194	46,461	9,990	384,810	26,579	21,278	384,853	26,567	21,321	242,517	18,946	515
	総合計	2,102,875	79,014	▲43,168	575,796	45,224	26,068	735,284	51,048	25,613	482,511	29,203	▲7,866
		物件費			内事業連合 委託費	事業剰余			事業外 損益	経常剰余			当期 剰余金
		本年実績	前年差	予算差		本年実績	前年差	予算差		本年実績	前年差	予算差	
ショッピング事業部	鶴1	4,452	▲421	▲17	0	17,479	8,064	5,139	71	17,550	8,134	5,210	17,550
	医学部	2,789	0	98	0	1,782	▲1,359	▲3,330	0	1,782	▲1,359	▲3,330	1,782
	保健学科	558	▲5	67	0	410	▲145	▲661	0	410	▲145	▲661	410
	BELBOX	6,640	370	247	0	▲6,291	▲4,168	▲14,516	55	▲6,236	▲4,138	▲14,461	▲6,236
	鶴2	914	▲636	▲18	0	348	948	2	1	349	948	3	349
	キャリア	7,389	29	▲706	0	▲5,919	▲2,048	▲6,425	2,307	▲3,612	▲1,717	▲5,068	▲3,612
	深江	1,685	271	417	0	548	▲663	▲611	1	549	▲670	▲610	549
	サービスセンター	12,928	814	402	0	38,609	▲2,686	2,034	1,251	39,860	▲2,744	1,982	39,860
	LANSBOX	2,728	767	542	0	2,015	2,355	1,559	8	2,023	2,362	1,567	2,023
	学生会館	363	▲163	363	0	13,793	364	13,793	0	13,793	364	13,793	13,773
	ピエス	278	▲315	▲56	0	▲210	583	▲452	▲1	▲210	582	▲452	▲210
	店舗支援課	6,525	▲805	1,352	0	▲29,533	▲7,193	4,041	200	▲29,332	▲7,541	3,892	▲29,332
	キャパPC	5,373	876	1,129	0	48,462	15,305	488	0	48,462	15,305	488	48,462
ショッピング事業部計	52,622	782	3,820	0	81,494	9,360	1,062	3,894	85,388	9,383	2,353	85,368	
総務	総務部	163,500	14,723	12,004	60,515	▲187,179	▲10,642	▲4,213	22,809	▲164,369	▲408	4,531	▲160,626
	事業支援課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総務部計	163,500	14,723	12,004	60,515	▲187,179	▲10,642	▲4,213	22,809	▲164,369	▲408	4,531	▲160,626	
フードサービス事業部	鶴1	15,838	734	2,686	0	16,883	7,172	2,751	▲1	16,881	7,169	2,749	16,832
	BELBOX	10,821	1,089	2,958	0	6,286	2,762	2,870	0	6,286	2,741	2,870	6,286
	さくら	5,110	158	173	0	17,385	1,313	7,671	0	17,385	1,313	7,671	17,385
	工学部	14,148	▲803	106	0	29,004	▲3,762	▲2,390	0	29,005	▲3,758	▲2,389	29,005
	LANSBOX	11,803	▲778	1,556	0	8,870	620	▲423	▲2	8,868	617	▲425	8,807
	滝川会館	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	鶴2	5,278	1,191	175	0	▲2,833	▲1,659	691	0	▲2,833	▲1,660	691	▲2,833
	医学部	8,143	▲650	226	0	16,589	3,015	3,387	▲5	16,584	3,012	3,382	16,584
	保健学科	2,706	▲61	▲166	0	▲1,569	▲247	▲231	▲1	▲1,570	▲248	▲232	▲1,570
	深江	3,825	165	▲311	0	▲110	▲224	568	0	▲109	▲223	569	▲109
食堂事務所	5,435	▲1,723	▲261	0	▲31,278	▲678	▲1,232	3,896	▲27,382	▲2,197	▲2,336	▲27,382	
フードサービス事業部計	83,108	▲680	7,143	0	59,228	8,301	13,663	3,888	63,115	6,758	12,550	63,006	
総合計	299,230	14,825	22,967	60,515	▲46,457	7,020	10,512	30,591	▲15,866	15,732	19,434	▲12,252	

神戸大学生協 損益比較表

(単位:円)

勘定科目	2024年度実績	2025年度予算	2025年度実績	対前年増減額	対前年増減率	対予算差異	対予算差異率
供給高	2,044,752,317	2,166,934,000	2,123,765,939	79,013,622	3.8	▲43,168,061	▲1.9
供給値引	21,234,314	23,919,000	20,890,683	▲343,631	▲1.6	▲3,028,317	▲12.6
純供給高	2,023,518,003	2,143,015,000	2,102,875,256	79,357,253	3.9	▲40,139,744	▲1.8
期首商品棚卸高	225,294,599	0	185,269,473	▲40,025,126	▲17.7	185,269,473	
仕入高	1,452,920,678	1,593,287,000	1,543,997,945	91,077,267	6.2	▲49,289,055	▲3.0
期末商品棚卸高	185,269,473	0	202,188,187	16,918,714	9.1	202,188,187	
供給剰余金	530,572,199	549,728,000	575,796,025	45,223,826	8.5	26,068,025	4.7
共済受託手数料収入	22,966,334	24,270,000	23,316,648	350,314	1.5	▲953,352	▲3.9
教育文化事業収入	872,076	534,000	629,893	▲242,183	▲27.7	95,893	17.9
供給事業手数料収入	660,320	344,000	649,308	▲11,012	▲1.6	305,308	88.7
不動産賃貸収入	2,011,814	2,870,000	3,192,179	1,180,365	58.6	322,179	11.2
その他手数料収入	127,153,481	131,925,000	131,700,052	4,546,571	3.5	▲224,948	▲0.1
その他事業収入	153,664,025	159,943,000	159,488,080	5,824,055	3.7	▲454,920	▲0.2
計							
事業総剰余金	684,236,224	709,671,000	735,284,105	51,047,881	7.4	25,613,105	3.6
役員報酬	9,386,284	9,120,000	8,594,196	▲792,088	▲8.4	▲525,804	▲5.7
職員給与	83,950,639	94,201,000	95,857,368	11,906,729	14.1	1,656,368	1.7
定時職員給与	297,953,851	319,899,000	308,872,919	10,919,068	3.6	▲11,026,081	▲3.4
退職給付費用	4,696,454	5,520,000	5,845,693	1,149,239	24.4	325,693	5.9
法定福利費	42,026,734	46,495,000	46,454,028	4,427,294	10.5	▲40,972	0.0
厚生費	3,423,811	2,847,000	3,456,051	32,240	0.9	609,051	21.3
役員退職給与引当金繰入額	565,264	780,000	563,111	▲2,153	▲0.3	▲216,889	▲27.8
賞与引当金繰入額	6,927,000	7,000,000	8,236,100	1,309,100	18.8	1,236,100	17.6
派遣人件費	4,377,534	4,515,000	4,631,194	253,660	5.7	116,194	2.5
人件費合計	453,307,571	490,377,000	482,510,660	29,203,089	6.4	▲7,866,340	▲1.6
教育文化費	1,780,368	1,446,000	1,071,787	▲708,581	▲39.7	▲374,213	▲25.8
広報費	8,574,177	8,728,000	8,631,484	57,307	0.6	▲96,516	▲1.1
消耗品費	35,710,795	31,262,000	36,604,062	893,267	2.5	5,342,062	17.0
物流費	1,850,880	1,929,000	1,989,121	138,241	7.4	60,121	3.1
車両運搬費	10,890,471	10,598,000	11,439,092	548,621	5.0	841,092	7.9
貸倒引当金繰入	0	0	0	0		0	
ポイント引当金繰入	132,824	0	308,610	175,786	132.3	308,610	
施設維持管理費	20,664,279	16,904,000	21,968,765	1,304,486	6.3	5,064,765	29.9
減価償却費	8,829,606	7,956,000	10,603,396	1,773,790	20.0	2,647,396	33.2
賃借料	2,493,104	2,740,000	2,341,577	▲151,527	▲6.0	▲398,423	▲14.5
水道光熱費	39,021,190	39,313,000	42,318,164	3,296,974	8.4	3,005,164	7.6
保険料	1,724,000	1,725,000	1,620,120	▲103,880	▲6.0	▲104,880	▲6.0
委託料	55,571,852	54,304,000	56,716,175	1,144,323	2.0	2,412,175	4.4
研修採用費	5,019,463	4,993,000	4,018,250	▲1,001,213	▲19.9	▲974,750	▲19.5
調査研究費	395,028	361,000	322,368	▲72,660	▲18.3	▲38,632	▲10.7
会議費	740,296	626,000	902,833	162,537	21.9	276,833	44.2
諸会費	7,442,771	7,303,000	7,676,522	233,751	3.1	373,522	5.1
渉外費	204,296	188,000	179,602	▲24,694	▲12.0	▲8,398	▲4.4
租税公課	510,900	552,000	595,500	84,600	16.5	43,500	7.8
通信交通費	11,184,875	10,634,000	14,174,876	2,990,001	26.7	3,540,876	33.2
雑費	14,938,199	14,734,000	15,233,184	294,985	1.9	499,184	3.3
事業連合委託費	56,726,000	59,967,000	60,515,000	3,789,000	6.6	548,000	0.9
物件費合計	284,405,374	276,263,000	299,230,488	14,825,114	5.2	22,967,488	8.3
事業経費合計	737,712,945	766,640,000	781,741,148	44,028,203	5.9	15,101,148	1.9
事業剰余金	▲53,476,721	▲56,969,000	▲46,457,043	7,019,678	13.1	10,511,957	18.4
受取利息	207,425	39,000	839,379	631,954	304.6	800,379	2,052.2
受取配当金	25,000	20,000	25,000	0	0.0	5,000	25.0
雑収入	12,721,029	11,610,000	12,436,238	▲284,791	▲2.2	826,238	7.1
出資金整理益	10,265,000	10,000,000	18,750,000	8,485,000	82.6	8,750,000	87.5
事業外収益	23,218,454	21,669,000	32,050,617	8,832,163	38.0	10,381,617	47.9
支払利息	0	0	0	0		0	
雑損失	1,340,274	0	1,459,653	119,379	8.9	1,459,653	
事業外費用	1,340,274	0	1,459,653	119,379	8.9	1,459,653	
経常剰余金	▲31,598,541	▲35,300,000	▲15,866,079	15,732,462	49.7	19,433,921	55.0
特別利益計	1,500,000	0	4,900,000	3,400,000	226.6	4,900,000	
特別損失計	170,062	0	129,765	▲40,297	▲23.6	129,765	
税引前当期剰余金	▲30,268,603	▲35,300,000	▲11,095,844	19,172,759	63.3	24,204,156	68.5
法人税等	1,059,871	0	1,156,654	96,783	9.1	1,156,654	
当期剰余金	▲31,328,474	▲35,300,000	▲12,252,498	19,075,976	60.8	23,047,502	65.2
当期首繰越剰余金	▲118,410,831	0	▲149,739,305	▲31,328,474	▲26.4	▲149,739,305	
当期末処分剰余金	▲149,739,305	▲35,300,000	▲161,991,803	▲12,252,498	▲8.1	▲126,691,803	▲358.9

事業部門別 損益比較表

【ショップ事業部】

(単位:円)

勘定科目	2024年度実績	2025年度予算	2025年度実績	対前年増減額	対前年増減率	対予算差異	対予算差異率
供給高	1,425,019,624	1,510,730,000	1,457,572,427	32,552,803	2.2	▲53,157,573	▲3.5
供給値引	3,555,307	3,094,000	3,566,826	11,519	0.3	472,826	15.2
純供給高	1,421,464,317	1,507,636,000	1,454,005,601	32,541,284	2.2	▲53,630,399	▲3.5
期首商品棚卸高	221,315,468	0	180,799,339	▲40,516,129	▲18.3	180,799,339	
仕入高	1,190,925,090	1,300,615,000	1,262,148,159	71,223,069	5.9	▲38,466,841	▲2.9
期末商品棚卸高	180,799,339	0	197,257,294	16,457,955	9.1	197,257,294	
供給剰余金	190,023,098	207,021,000	208,315,397	18,292,299	9.6	1,294,397	0.6
共済受託手数料収入	0	0	0	0		0	
教育文化事業収入	0	0	0	0		0	
供給事業手数料収入	208,490	0	314,839	106,349	51.0	314,839	
不動産賃貸収入	2,011,814	2,870,000	3,192,179	1,180,365	58.6	322,179	11.2
その他手数料収入	96,466,119	101,625,000	97,485,686	1,019,567	1.0	▲4,139,314	▲4.0
その他事業収入計	98,686,423	104,495,000	100,992,704	2,306,281	2.3	▲3,502,296	▲3.3
事業総剰余金	288,709,521	311,516,000	309,308,101	20,598,580	7.1	▲2,207,899	▲0.7
役員報酬	0	0	0	0		0	
職員給与	54,569,272	62,840,000	62,274,985	7,705,713	14.1	▲565,015	▲0.8
定時職員給与	87,175,670	94,455,000	88,028,497	852,827	0.9	▲6,426,503	▲6.8
退職給付費用	0	0	0	0		0	
法定福利費	17,817,470	19,662,000	19,169,606	1,352,136	7.5	▲492,394	▲2.5
厚生費	795,591	810,000	1,087,872	292,281	36.7	277,872	34.3
役員退職給与引当金繰入額	0	0	0	0		0	
賞与引当金繰入額	0	0	0	0		0	
派遣人件費	4,377,534	4,515,000	4,631,194	253,660	5.7	116,194	2.5
人件費合計	164,735,537	182,282,000	175,192,154	10,456,617	6.3	▲7,089,846	▲3.8
教育文化費	0	0	0	0		0	
広報費	5,306,226	5,672,000	5,177,930	▲128,296	▲2.4	▲494,070	▲8.7
消耗品費	7,918,932	6,963,000	7,471,077	▲447,855	▲5.6	508,077	7.2
物流費	64,130	0	20,000	▲44,130	▲68.8	20,000	
車両運搬費	8,523,550	8,295,000	8,847,488	323,938	3.8	552,488	6.6
貸倒引当金繰入	0	0	0	0		0	
ポイント引当金繰入	0	0	0	0		0	
施設維持管理費	2,949,308	3,228,000	4,411,426	1,462,118	49.5	1,183,426	36.6
減価償却費	2,977,024	3,312,000	4,101,081	1,124,057	37.7	789,081	23.8
賃借料	1,396,024	1,488,000	1,394,297	▲1,727	▲0.1	▲93,703	▲6.2
水道光熱費	5,535,953	5,512,000	6,762,801	1,226,848	22.1	1,250,801	22.6
保険料	0	0	0	0		0	
委託料	9,678,180	8,056,000	7,802,274	▲1,875,906	▲19.3	▲253,726	▲3.1
研修採用費	815,661	333,000	209,777	▲605,884	▲74.2	▲123,223	▲37.0
調査研究費	56,034	41,000	88,171	32,137	57.3	47,171	115.0
会議費	336,732	313,000	372,738	36,006	10.6	59,738	19.0
諸会費	316,918	299,000	219,041	▲97,877	▲30.8	▲79,959	▲26.7
渉外費	30,430	35,000	6,088	▲24,342	▲79.9	▲28,912	▲82.6
租税公課	14,800	6,000	14,600	▲200	▲1.3	8,600	143.3
通信交通費	5,028,558	4,643,000	5,367,092	338,534	6.7	724,092	15.5
雑費	891,676	606,000	356,082	▲535,594	▲60.0	▲249,918	▲41.2
事業連合委託費	0	0	0	0		0	
物件費合計	51,840,136	48,802,000	52,621,963	781,827	1.5	3,819,963	7.8
事業経費合計	216,575,673	231,084,000	227,814,117	11,238,444	5.1	▲3,269,883	▲1.4
事業剰余金	72,133,848	80,432,000	81,493,984	9,360,136	12.9	1,061,984	1.3
受取利息	0	0	0	0		0	
受取配当金	0	0	0	0		0	
雑収入	3,919,559	2,603,000	3,900,003	▲19,556	▲0.4	1,297,003	49.8
出資金整理益	0	0	0	0		0	
事業外収益	3,919,559	2,603,000	3,900,003	▲19,556	▲0.4	1,297,003	49.8
支払利息	0	0	0	0		0	49.8
雑損失	48,417	0	6,235	▲42,182	▲87.1	6,235	
事業外費用	48,417	0	6,235	▲42,182	▲87.1	6,235	49.8
経常剰余金	76,004,990	83,035,000	85,387,752	9,382,762	12.3	2,352,752	
特別利益計	0	0	0	0		0	
特別損失計	3	0	20,169	20,166	672,200.0	20,169	
税引前当期剰余金	76,004,987	83,035,000	85,367,583	9,362,596	12.3	2,332,583	2.8

【フードサービス事業部】

(単位:円)

勘定科目	2024年度実績	2025年度予算	2025年度実績	対前年増減額	対前年増減率	対予算差異	対予算差異率
供給高	619,732,693	656,204,000	666,193,512	46,460,819	7.4	9,989,512	1.5
供給値引	0	0	0	0			
純供給高	619,732,693	656,204,000	666,193,512	46,460,819	7.4	9,989,512	1.5
期首商品棚卸高	3,979,131	0	4,470,134	491,003	12.3	4,470,134	
仕入高	261,992,703	292,672,000	281,844,705	19,852,002	7.5	▲10,827,295	▲3.6
期末商品棚卸高	4,470,134	0	4,930,893	460,759	10.3	4,930,893	
供給剰余金	358,230,993	363,532,000	384,809,566	26,578,573	7.4	21,277,566	5.8
共済受託手数料収入	0	0	0	0		0	
教育文化事業収入	0	0	0	0		0	
供給事業手数料収入	0	0	0	0		0	
不動産賃貸収入	0	0	0	0		0	
その他手数料収入	54,553	0	43,055	▲11,498	▲21.0	43,055	
その他事業収入計	54,553	0	43,055	▲11,498	▲21.0	43,055	
事業総剰余金	358,285,546	363,532,000	384,852,621	26,567,075	7.4	21,320,621	5.8
役員報酬	0	0	0	0		0	
職員給与	27,531,803	29,257,000	31,291,862	3,760,059	13.6	2,034,862	6.9
定時職員給与	178,399,912	192,625,000	190,162,488	11,762,576	6.5	▲2,462,512	▲1.2
退職給付費用	0	0	0	0		0	
法定福利費	15,384,384	18,434,000	19,155,612	3,771,228	24.5	721,612	3.9
厚生費	2,255,197	1,686,000	1,906,993	▲348,204	▲15.4	220,993	13.1
役員退職給与引当金繰入額	0	0	0	0		0	
賞与引当金繰入額	0	0	0	0		0	
派遣人件費	0	0	0	0		0	
人件費合計	223,571,296	242,002,000	242,516,955	18,945,659	8.4	514,955	0.2
教育文化費	0	0	0	0		0	
広報費	434,770	334,000	236,262	▲198,508	▲45.6	▲97,738	▲29.2
消耗品費	21,529,937	18,466,000	19,253,640	▲2,276,297	▲10.5	787,640	4.2
物流費	0	0	0	0		0	
車両運搬費	1,227,135	1,001,000	1,497,223	270,088	22.0	496,223	49.5
貸倒引当金繰入	0	0	0	0		0	
ポイント引当金繰入	0	0	0	0		0	
施設維持管理費	15,292,527	11,454,000	15,003,316	▲289,211	▲1.8	3,549,316	30.9
減価償却費	5,547,015	4,320,000	6,185,515	638,500	11.5	1,865,515	43.1
賃借料	72,600	117,000	79,200	6,600	9.0	▲37,800	▲32.3
水道光熱費	32,538,966	32,922,000	34,406,470	1,867,504	5.7	1,484,470	4.5
保険料	0	0	0	0		0	
委託料	4,141,439	3,981,000	4,134,702	▲6,737	▲0.1	153,702	3.8
研修採用費	1,986,153	2,400,000	1,348,406	▲637,747	▲32.1	▲1,051,594	▲43.8
調査研究費	140,108	120,000	10,273	▲129,835	▲92.6	▲109,727	▲91.4
会議費	140,417	154,000	152,802	12,385	8.8	▲1,198	▲0.7
諸会費	3,822	0	7,898	4,076	106.6	7,898	
渉外費	9,819	0	28,284	18,465	188.0	28,284	
租税公課	18,600	0	26,600	8,000	43.0	26,600	
通信交通費	697,870	689,000	737,540	39,670	5.6	48,540	7.0
雑費	6,800	7,000	0	▲6,800	▲100.0	▲7,000	▲100.0
事業連合委託費	0	0	0	0		0	
物件費合計	83,787,978	75,965,000	83,108,131	▲679,847	▲0.8	7,143,131	9.4
事業経費合計	307,359,274	317,967,000	325,625,086	18,265,812	5.9	7,658,086	2.4
事業剰余金	50,926,272	45,565,000	59,227,535	8,301,263	16.3	13,662,535	29.9
受取利息	0	0	0	0		0	
受取配当金	0	0	0	0		0	
雑収入	5,447,849	5,000,000	3,910,698	▲1,537,151	▲28.2	▲1,089,302	▲21.7
出資金整理益	0	0	0	0		0	
事業外収益	5,447,849	5,000,000	3,910,698	▲1,537,151	▲28.2	▲1,089,302	▲21.7
支払利息	0	0	0	0		0	
雑損失	16,535	0	22,996	6,461	39.0	22,996	
事業外費用	16,535	0	22,996	6,461	39.0	22,996	
経常剰余金	56,357,586	50,565,000	63,115,237	6,757,651	11.9	12,550,237	24.8
特別利益計	0	0	0	0		0	
特別損失計	170,059	0	109,596	▲60,463	▲35.5	109,596	
税引前当期剰余金	56,187,527	50,565,000	63,005,641	6,818,114	12.1	12,440,641	24.6

【総務部】

(単位:円)

勘定科目	2024年度実績	2025年度予算	2025年度実績	対前年増減額	対前年増減率	対予算差異	対予算差異率
供給高	0	0	0	0		0	
供給値引	17,679,007	20,825,000	17,323,857	▲355,150	▲2.0	▲3,501,143	-16.8
純供給高	▲17,679,007	▲20,825,000	▲17,323,857	355,150	2.0	3,501,143	16.8
期首商品棚卸高	0	0	0	0		0	
仕入高	2,885	0	5,081	2,196	76.1	5,081	
期末商品棚卸高	0	0	0	0		0	
供給剰余金	▲17,681,892	▲20,825,000	▲17,328,938	352,954	1.9	3,496,062	16.7
共済受託手数料収入	22,966,334	24,270,000	23,316,648	350,314	1.5	▲953,352	▲3.9
教育文化事業収入	872,076	534,000	629,893	▲242,183	▲27.7	95,893	17.9
供給事業手数料収入	451,830	344,000	334,469	▲117,361	▲25.9	▲9,531	▲2.7
不動産賃貸収入	0	0	0	0		0	
その他手数料収入	30,632,809	30,300,000	34,171,311	3,538,502	11.5	3,871,311	12.7
その他事業収入計	54,923,049	55,448,000	58,452,321	3,529,272	6.4	3,004,321	5.4
事業総剰余金	37,241,157	34,623,000	41,123,383	3,882,226	10.4	6,500,383	18.7
役員報酬	9,386,284	9,120,000	8,594,196	▲792,088	▲8.4	▲525,804	▲5.7
職員給与	1,849,564	2,104,000	2,290,521	440,957	23.8	186,521	8.8
定時職員給与	32,378,269	32,819,000	30,681,934	▲1,696,335	▲5.2	▲2,137,066	▲6.5
退職給付費用	4,696,454	5,520,000	5,845,693	1,149,239	24.4	325,693	5.9
法定福利費	8,824,880	8,399,000	8,128,810	▲696,070	▲7.8	▲270,190	▲3.2
厚生費	373,023	351,000	461,186	88,163	23.6	110,186	31.3
役員退職給与引当金繰入額	565,264	780,000	563,111	▲2,153	▲0.3	▲216,889	▲27.8
賞与引当金繰入額	6,927,000	7,000,000	8,236,100	1,309,100	18.8	1,236,100	17.6
派遣人件費	0	0	0	0		0	
人件費合計	65,000,738	66,093,000	64,801,551	▲199,187	▲0.3	▲1,291,449	▲1.9
教育文化費	1,780,368	1,446,000	1,071,787	▲708,581	▲39.7	▲374,213	▲25.8
広報費	2,833,181	2,722,000	3,217,292	384,111	13.5	495,292	18.1
消耗品費	6,261,926	5,833,000	9,879,345	3,617,419	57.7	4,046,345	69.3
物流費	1,786,750	1,929,000	1,969,121	182,371	10.2	40,121	2.0
車両運搬費	1,139,786	1,302,000	1,094,381	▲45,405	▲3.9	▲207,619	▲15.9
貸倒引当金繰入	0	0	0	0		0	
ポイント引当金繰入	132,824	0	308,610	175,786	132.3	308,610	
施設維持管理費	2,422,444	2,222,000	2,554,023	131,579	5.4	332,023	14.9
減価償却費	305,567	324,000	316,800	11,233	3.6	▲7,200	▲2.2
賃借料	1,024,480	1,135,000	868,080	▲156,400	▲15.2	▲266,920	▲23.5
水道光熱費	946,271	879,000	1,148,893	202,622	21.4	269,893	30.7
保険料	1,724,000	1,725,000	1,620,120	▲103,880	▲6.0	▲104,880	▲6.0
委託料	41,752,233	42,267,000	44,779,199	3,026,966	7.2	2,512,199	5.9
研修採用費	2,217,649	2,260,000	2,460,067	242,418	10.9	200,067	8.8
調査研究費	198,886	200,000	223,924	25,038	12.5	23,924	11.9
会議費	263,147	159,000	377,293	114,146	43.3	218,293	137.2
諸会費	7,122,031	7,004,000	7,449,583	327,552	4.5	445,583	6.3
渉外費	164,047	153,000	145,230	▲18,817	▲11.4	▲7,770	▲5.0
租税公課	477,500	546,000	554,300	76,800	16.0	8,300	1.5
通信交通費	5,458,447	5,302,000	8,070,244	2,611,797	47.8	2,768,244	52.2
雑費	14,039,723	14,121,000	14,877,102	837,379	5.9	756,102	5.3
事業連合委託費	56,726,000	59,967,000	60,515,000	3,789,000	6.6	548,000	0.9
物件費合計	148,777,260	151,496,000	163,500,394	14,723,134	9.8	12,004,394	7.9
事業経費合計	213,777,998	217,589,000	228,301,945	14,523,947	6.7	10,712,945	4.9
事業剰余金	▲176,536,841	▲182,966,000	▲187,178,562	▲10,641,721	▲6.0	▲4,212,562	▲2.3
受取利息	207,425	39,000	839,379	631,954	304.6	800,379	2,052.2
受取配当金	25,000	20,000	25,000	0	0.0	5,000	25.0
雑収	3,353,621	4,007,000	4,625,537	1,271,916	37.9	618,537	15.4
出資金整理益	10,265,000	10,000,000	18,750,000	8,485,000	82.6	8,750,000	87.5
事業外収益	13,851,046	14,066,000	24,239,916	10,388,870	75.0	10,173,916	72.3
支払利息	0	0	0	0		0	
雑損	1,275,322	0	1,430,422	155,100	12.1	1,430,422	
事業外費用	1,275,322	0	1,430,422	155,100	12.1	1,430,422	
経常剰余金	▲163,961,117	▲168,900,000	▲164,369,068	▲407,951	▲0.2	4,530,932	2.6
特別利益計	1,500,000	0	4,900,000	3,400,000	226.6	4,900,000	
特別損失計	0	0	0	0		0	
税引前当期剰余金	▲162,461,117	▲168,900,000	▲159,469,068	2,992,049	1.8	9,430,932	5.5

沿 革

年 月	内 容
1957年 6月	設立総会
7月	県知事認可
12月	設立登記
1958年 5月	姫路支部発足
1958年 9月	六甲支部焼失
10月	書籍部御影に開設
1960年 12月	六甲支部再建
1962年 11月	工学支部発足
1963年 4月	教養部鶴甲に移転
1964年 9月	教養部本食堂完成文理学部食堂完成 学舎統合により御影支部 学舎統合により姫路支部廃止
10月	学生会館に書籍部統合移転
1966年 9月	農学部支部開設
1967年 10月	医学部支部開設
1969年 12月	工学部にカフェテリア食堂開設
1973年 4月	医学部食堂改装
1976年 9月	六甲支部二階化(一階食堂、二階喫茶・購買書籍)
1977年 2月	農学部食堂拡張
1979年 3月	文理学部食堂廃止
8月	教養部食堂拡張
1980年 4月	教育学部購買部拡張
1982年 10月	工学部喫茶(エコー)開設 兵庫県知事登録国内旅行業登録
1984年 2月	運輸大臣登録一般旅行業代理店登録
3月	医療技術短期大学部施設開設
4月	医学部書籍・購買部が国内旅行業営業所として登録
1985年 1月	LANS BOX(文・理・農・自然科学研究科施設)開設
4月	CAFELIA(教養部喫茶)改装
1986年 4月	宅地建物取引業登録
5月	自動車運送取扱業登録
1988年 1月	員外利用許可(神戸大学の校費)
4月	MEDICO ATRIUM(医学部施設)開設
8月	LOFT 学生会館書籍部に移転
1992年 1月	滝川記念学会館食堂(教職員用施設)運営受託
1993年 1月	両替業務の開始認可(平成10年4月法改訂に伴い廃止)
1994年 8月	員外利用許可(神戸大学の来訪者)
9月	国際文化学部食堂リニューアル
1995年 1月	阪神・淡路大震災で被災
1996年 4月	旅行業法の改定に伴い、運輸大臣登録一般旅行業代理店登録を廃業し、旅行業第3種登録(海外旅行・国内旅行の手配)
1997年 6月	国際文化学部購買リニューアル及びLOFTの移転
1998年 5月	三木記念会館食堂(教職員用施設)運営受託
1999年 6月	宅地建物取引業で医学部店を支店として登録
2000年 5月	工学部喫茶室(エコー)屋外テラス拡張(48席)

	6月	定款変更の兵庫県知事認可(名称変更、出資一口金額の変更等) 神戸大学生協同組合に名称変更
	7月	学生会館食堂廃止、隣接する書籍部拡張(約80坪)
2001年	8月	工学部購買店拡張(約3坪)
2002年	11月	六甲台食堂・喫茶・書籍購買店、新施設移設準備に伴い閉店(仮店舗営業)
2003年	1月	六甲台新施設(アカデミア館)食堂・レストラン・ショップ営業開始
	10月	神戸大学と神戸商船大学の統合に伴い、海事科学部食堂・ショップ営業開始
2004年	4月	国立大学法人神戸大学と協定書・業務委託契約書を締結し、神戸大学における福利厚生事業全般を受託
	8月	国際文化学部店、カフェリア、パンショップ改装
	8月	工学部店リニューアル
	9月	LANS BOX 店リニューアル
2006年	2月	工学部食堂リニューアル
	6月	員外利用許可(酒類販売事業)
	9月	LANS BOX 店リニューアル 国際文化学部店・BELBOX ショップ酒類販売業登録
2007年	2月	工学部喫茶エコール閉店
	3月	発達科学部店移設・発達科学部食堂ホール改装
	8月	国際文化学部店改装
	12月	国際文化学部食堂・発達科学部食堂厨房改装に伴い閉店 学生会館店全面改装 サービスセンター改装に伴い移転
2008年	3月	国際文化学部店舗内ゆうちょ銀行ATM稼働開始
	4月	国際文化学部食堂・サービスセンター・発達科学部食堂営業開始
	8月	国際文化学部店改装
	12月	国際文化学部食堂・カフェリアパンショップ・発達科学部食堂・学生会館店改装
2009年	4月	総務部(組合員サポートデスク)改装
	8月	BELBOX ショップ店舗内ゆうちょ銀行ATM稼働開始
2010年	3月	基幹システム・店舗システム変更(大学生協システム)
	8月	医学部店改装
	12月	保健学科店改装
2011年	2月	LANSBOX 店改装
	6月	大学生協共済連加入
	8月	大学生協神戸事業連合と大学生協大阪事業連合が併合し、大学生協阪神事業連合となる
	10月	全店舗にて煙草の取扱いを中止
2012年	3月	日本生活協同組合連合会脱退
	4月	神戸大学附属図書館学内書籍等運搬業務請負
	6月	平成24年度神戸大学英語外部試験(TOEIC-IP・TOEFL-ITP)実施請負
	9月	LANSBOX 店改装
	12月	瀧川記念会館喫茶コーナー業務委託 パートタイマー・エルダースタッフ就業規則改定
2013年	1月	神戸大学職員対象英語外部試験(TOEIC-IP)実施請負
	3月	平成25年度神戸大学英語外部試験(TOEIC-IP・TOEFL-ITP)実施請負
	7月	Microsoft ソフトウェアライセンスメディアインストールキット販売開始
	9月	総務部改装
	10月	神戸大学職員対象英語外部試験(TOEIC-IP)実施請負
2014年	2月	神戸大学附属図書館学内書籍等運搬業務請負
	3月	平成26年度神戸大学英語外部試験(TOEIC-IP・TOEFL-ITP)実施請負
	8月	工学部食堂・ショップ耐震工事に伴い一時閉店

		神戸大学職員対象英語外部試験(TOEIC-IP)実施請負
2015年	10月	臨時総代会 神戸大学附属中等教育学校への店舗開設承認
	1月	工学部食堂・ショップ営業再開
	3月	平成27年度神戸大学英語外部試験(TOEIC-IP・TOEFL-ITP)実施請負
2016年	4月	附属中等教育学校店営業開始
	8月	全学ソフトウェアライセンスサポート業務請負
	10月	入学試験合格者書類発送委託契約締結(生協資料同封発送)
	11月	学生総合共済全店舗受付業務開始
	2月	神戸大学附属図書館学内書籍等運搬業務請負
2017年	3月	カフェリア・パンショップ業態変更に伴う改装 平成28年度神戸大学英語外部試験(TOEIC-IP・TOEFL-ITP)実施請負
	9月	LANSBOX 食堂厨房内ケータリング調理エリア設置 大学生協関西西北陸事業連合設立(阪神・京都・北陸の3事業連合合併)
	10月	LANSBOX 食堂2階留学生食事対応開始(食堂名:LANS Vege Dining) 国際文化学部食堂新レーン増設(Wレーン化)
	2月	神戸大学附属図書館学内書籍等運搬業務請負 楠地区を除く自動販売機設置及び管理に関する入札参加
	3月	楠地区を除く自動販売機設置及び管理に関する業務受託 平成29年度神戸大学英語外部試験(TOEIC-IP・TOEFL-ITP)実施請負
2018年	7月	学内可燃ゴミ回収業務受託
	9月	正規職員就労条件を関西西北陸事業連合同一化に伴う就業規則変更
	2月	PiTaPa カード利用終了 生協 IC カード募集開始
	3月	平成30年度神戸大学英語外部試験(TOEIC L&R IP・TOEFL-ITP)実施請負 英語外部試験受験料一部支援制度申請受付業務 神戸大学 PC 必携化ワーキングオブザーバー参加(3月までの全10回に参加)
	6月	役員報酬規則・役員の報酬及び退任慰労金支給基準に関する細則を関西西北陸事業連合と同一化 アカデミア館2階(BELBOX ショップ内)ゆうちょ銀行 ATM 撤去
2019年	8月	大学生協事業連合設立(北海道・東北・東京・東海・関西西北陸・九州の6事業連合合併)
	11月	学食定期募集開始
	2月	バイク取扱(販売・修理等)終了
	3月	平成30年度神戸大学英語外部試験(TOEIC L&R IP・TOEFL-ITP)実施請負
	4月	自賠責保険取扱終了
2020年	9月	神戸親和女子大学生協との「相互協力に関する協定書」を締結
	10月	「キャッシュレス・消費者還元事業主」認可 正規職員定年後再雇用新制度の導入
	4月	レジ袋有料化 緊急事態宣言発出(4月7日から5月21日)ならびに入講禁止(4月7日から5月6日)に伴い全店臨時休業 学生会館店にて教科書のオンライン販売を開始
	5月	5月7日より遠隔授業により開始 LANSBOX 店を時間短縮ならびに限られた商品販売にて営業再開
	6月	国際文化学部店・医学部店・学生会館店・サービスセンター・組合員サポートデスクを、電話・FAX・メール等の対面以外による対応にて営業再開(短縮営業) レストランさくらにて配達弁当開始 工学部食堂・LANSBOX 食堂・医学部食堂・医学部店を時間短縮にて営業再開 「新型コロナウイルス感染症対応 基本方針」を策定
8月	名谷キャンパスA棟改修(保健学科食堂・保健学科店も改修対象のため閉店) 工学研究院試に伴う英語外部試験実施請負	

	工学部店(てくてく)を手作り弁当テイクアウトコーナーに業態変更
2021年	10月 国際文化学部店・サービスセンター・組合員サポートデスクを時間短縮にて対面での営業再開 海事科学部食堂を時間短縮にて営業再開 名谷キャンパスF棟1階フロアにて手作り弁当の販売開始 国際文化学部食堂を時間短縮にて営業再開
	11月 海事科学部店を時間短縮ならびに週2回にて営業再開
	12月 名谷キャンパスF棟1階フロアにて手作り弁当の販売終了
	1月 国際文化学部食堂臨時閉店
	2月 学生会館店の業態変更(教科書販売専門店に変更)
	3月 書籍値引制度終了(生協ICカード決済におけるポイント付与に変更) 令和3年入学者より生協加入時に生協ICカード発行へ切替 令和3年度神戸大学英語外部試験(TOEIC L&R IP・TOEFL-ITP)実施請負
	4月 LANS HALAL Vege Dining 以外の営業を時間短縮にて再開 保健学科食堂・保健学科店の営業再開
	7月 深江キャンパス学生会館改修に伴い海事科学部食堂・ショップ閉店 タツミラウンジにて手作り弁当ならびに教科書販売開始(7月・10月)
	11月 海事科学部食堂・海事科学部店の営業再開 学生総合共済の大学生協共済連とコープ共済連による共同引受開始 コロナ禍に於けるケータリング利用ルールを策定
2022年	2月 食堂でのTuoカード利用決済終了
	3月 神戸大学・タイガー魔法瓶(株)と3者にてSDGs推進の共同活動契約を締結 令和4年度神戸大学英語外部試験(TOEIC L&R IP・TOEFL-ITP)実施請負 楠地区を除く自動販売機設置及び管理に関する入札参加
	4月 楠地区を除く自動販売機設置及び管理に関する業務受託
	6月 瀧川記念会館食堂ならびにLANS HALAL Vege Diningを除き全店舗営業
	8月 学生総合共済以外のコープ共済保険商品取り扱い開始 学生会館店閉店(BELBOX ショップへ事業統合) プラスチック製カトラリー・ストロー有料化
	9月 大学生協共済連解散(コープ共済連へ全共済事業を譲渡) 神戸大学と食堂利用データの提供に関する共同研究契約を締結
	10月 コープ共済連にて学生総合共済を含む全共済事業の取り扱い開始
	11月 医学部店酒類販売業登録
	12月 LANSBOX 店酒類販売業登録
2023年	1月 新レジシステム(ユビレジ)運用開始 大学生協アプリでの決済利用開始
	6月 医学部店・医学部食堂新福利厚生施設移転 LANS HALAL Vege Dining 営業再開
	9月 瀧川記念会館食堂閉店(大学へ施設を返還)
	10月 CO・OP 火災共済ならびにマイカー共済の取り扱い開始 BELBOX カフェテリアにて夕食営業開始
2024年	4月 BELBOX カフェテリアにて土曜日昼食営業開始
	7月 お手拭き(ナフキン)のレジでの無償提供を中止(8月1日より有料化)
	8月 附属学校ショップ移転
	9月 附属学校ショップをRabbit's Squareに店舗名変更(生徒会にて新名称募集)
	10月 セブンイレブン工学部店にて、神大オリジナルグッズの販売開始
	12月 手作りパンの製造を開始(鶴1食堂の旧カフェリア・パンショップコーナーを改装)し、鶴1ショップを中心に販売を開始 鶴甲第1キャンパス、鶴甲第2キャンパス、深江キャンパスの食堂・ショップの店舗名変更 (組合員からの応募を参考)

		国際文化学部食堂を鶴1食堂に変更 国際文化学部店を鶴1 ショップに変更 発達科学部食堂を鶴2 食堂に変更 発達科学部店を鶴2 ショップに変更 海事科学部食堂を深江キッチンに変更 海事科学部店を深江ショップに変更
2025年	11月	六甲地区全体の各ショップにて手作りパンの販売を開始
	12月	鶴2 食堂リニューアル工事に伴い休業
2026年	1月	大学生協アプリでの書籍購入決済のポイント率変更(4月・10月を除き10割を5割)

なお、本議案の官庁等への届け出等については、本通常総代会の議決の趣旨に反しない範囲内で字句の修正等をさせていただくことを理事会に一任願います。

監査報告書

私たち監事は、2025年3月1日から2026年2月28日までの2025年度の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、他の監事と意思疎通及び情報の交換を図るほか、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報収集及び監査の環境の整備に努めました。各監事は、理事会に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本部において業務及び財産の状況を調査いたしました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告書及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る決算関係書類（貸借対照表、損益計算書、損失処理案）及びその附属明細書について検討いたしました。

2 監査の結果

(1) 事業報告書等の監査結果

- 一、事業報告書及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、組合の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二、理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 決算関係書類及びその附属明細書の監査結果

決算関係書類及びその附属明細書は、組合の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

(3) 損失処理案監査結果

損失処理案は法令及び定款に適合し、かつ、組合財産の状況その他の事情に照らして指摘すべき事項は認められません。

2026年4月27日

神戸大学生生活協同組合

監事

大 友 恭 弘 

監事

大 村 直 人 

監事

中 出 府 紀 

監事意見書

2025年度の事業・活動に関して、監事会より以下の意見書を提出します。

当期剰余金予算△3,530万円に対して、△1,225万円と予算超過達成となったが損失計上であることには違いない。その結果、累積損失額も1億6千万円を超える大きな金額となり、出資金の約42.5%を占めている。このままでは理事会でも報告があった通り、7年後には債務超過となる可能性もあり、引き続き収支均衡ならびに経営再建に取り組んで頂きたい。

ただコロナ禍以降、大学の学修スタイルは大きく変化しており、学内滞留人口や滞留時間が減少している。この流れが元に戻ることを想定することはできず、急激なV字回復が難しい中、当生協としてもあらたなビジネススタイルの構築が急務と考える。

- ・引く続き収支均衡ならびに経営再建への取り組み、組合員の学生生活がより良くなるように尽力頂きたい。
- ・現在の学修スタイルに対応したビジネスモデルの構築を検討頂きたい。
- ・キャンパス内における優位性は既に過去のものであり、コモディティ化による競争下では非常に不利と考える(インターネットショッピング等)。今後、更なる商品・メニューに対しての付加価値を検討いただきたい。
- ・神戸大学オリジナルグッズ等、大学ブランドを高めるような商品戦略は今後さらに検討すべきである。そのためには、まだまだ弱いと考えるマーケティング力の強化は必要である。
- ・食堂のメニュー価格改定に関して、質量の変更等での対応ではなく、現在の社会情勢や経済状況を考えると価格転嫁も致し方ないとする。神戸大学生協は食堂をはじめ食に関する事業が大きな柱である。その意味でもしっかりと収益が確保できるように施策しなければならないと考える。食堂のメニューやショップの商品構成は大きく事業連合に依存しているが、会議等においては神戸大学生協の組合員の声をしっかり届けていただきたい。
- ・営業時間や食堂閉店後のホール等の有効活用は、状況に応じて検討すべきであるとする。
- ・教科書を含む書籍事業は非常に厳しい状況ではあるが、大学生協として書籍を取り扱うことは必要である。ただ、今後の事業展開は縮小・合理化も含めて検討すべきであるとする。

2026年4月27日

監事 大谷 泰弘

監事 大村 直人

監事 中出 麻紀

第2号議案 2026年度事業計画および予算決定の件

※第2号議案は2026年度に行う活動や改善、事業計画を報告します。

第2号議案－1 2026年度活動計画

【活動方針】

3期連続の損失(赤字)予算となります。ただ、神戸大学生協全体で、鶴1ショップの改装費用を除き経常剰余金率(NET)0.1%を目指し、全職員一丸となって経営再建に取り組みます。NET0.1%を目指すにあたり、特に以下の取り組みに注力し、事業・活動の発展に尽力します。

※経常剰余金率は、「経常剰余金÷供給高×100」で算出する経営状況を表す指標の一つで、この指標が大きいほど優良です。2026年度予算の経常剰余金率は▲1.28%となり、目標の0.1%は経常剰余金210万円となります。

2026年度の活動方針は以下の9点です。

①【「通学＝生協利用」】をベースとした【新たなフォームによる剰余の確保】【付加価値の探求】に引き続き取り組みます。

※「安心」「安全」「安価」との認識が広く浸透していますが、「安心」「安全」「付加価値」に移行し、供給高も重要ですが、利活用人数を引き続き追求します。

②SNSの活用

ホームページ以外にも、生協公式LINE、各店舗のX(旧Twitter)、Instagram、大学生協アプリのお知らせ等、様々なツールを使用しています。ただ、発信力がまだまだ弱く、生協の事業や活動を広く知って頂くことができていません。2026年度は「知って頂く」ことに注力します。

③大学校費利用に依存しない事業スタイルに移行

Amazon ビジネスを始めとしたネット通販の利用により、大学校費の利用(受注)が減少し大きな影響が発生しています。この流れを止めることはできず、今後さらにネット通販の利用が拡大すると考えられます。そのため、校費利用に依存しなくても収支均衡となる事業形態を構築します。

④2026年度の新入生支援活動

これまで以上に新入生支援活動が重要となります。学習用PC、それに付随するサービス、PC講習会、住まい紹介、そしてMEAL PASS等、これまで以上に取り組みを強化します。

⑤内製商品の強化

2025年度より本格的に製造販売を開始しました手作りパンは、手作り弁当に次ぐ大きな事業の柱に成長しました。2026年度はさらに内製商品(手作り)へのシフト(仕入商品から内製商品へ)を進めます。

⑥書籍のポイント付与率変更

2026年1月1日より、大学生協アプリでの書籍購入時のポイントを100円に付き5割に変更しました。これにより、ポイント付与の軽減による損益改善と書籍事業の合理化を図ります。但し、4月・10月は教科書購入を支援するため、これまで通りの100円に付き10割とします。

※昨今、書籍の返品に対する条件が厳しくなっています(原価落ちで返品)。そのため、年間を通して教科書販売を行うのではなく、メリハリのある販売形式にシフトします。

⑦省人化への取り組み

最低賃金が大きく改定される中、人件費(労務費)が増加しています。そのため、人件費の増加を少しでも抑制(最適化)しなければなりません。セルフレジをはじめ、省人化への取り組みを行います。

※2025年度から鶴2ショップ・LANSBOX店にて、セルフレジの稼働を開始しました。

⑧非組合員価格の導入

2026年度中に運用を開始します。

※2025年度にプロジェクトチームは設置し、各ワーキングチームにて準備を進めています。

⑨鶴1ショップの改装

約20年近く、鶴1ショップの改装を行っていません。そのため、店舗自体の鮮度がかなり落ちており、いろいろな取り組みが伝わり難しくなっています。また、新たな取り組みに対しても、レイアウト変更制限があることから付け焼刃的になっています(特に昼ピーク時の混雑や歪な導線)。大きな累積損失(累積赤字)の解消に向けての経営再建中ではありますが、鶴1ショップの改装を行いたいと考えています。

※鶴1ショップには、大きなウォークイン冷蔵ショーケース(以下、チャンバー)が設置されています。設置当時は最適な場所でしたが、主力商品が文具やサプライから飲食品(コンビニ商品)へと変化する中で、チャンバーの設置位置が問題となりレイアウト変更を困難にしています。このチャンバーも経年劣化が激しくなっており、いつ大規模な修理が発生するかわからない状況です。最悪、買い替えとなった場合は現在の位置での設置となり、今後もレイアウト変更が困難となります。そのため、新たなレイアウトにてチャンバーの設置位置を最適化し、より良いショップに生まれ変わることを考えます。また、改装に際しては蛍光灯のLED化や床の貼替、各棚の新調や温蔵ショーケースの拡充(手作り弁当)も検討します。

【ショップ事業部 事業方針】

1. 基本方針

2026年度は、これまでの事業運営を踏まえ、

☞ 「規模拡大」から「持続的に稼げる事業構造への転換」を基本方針とする。

物価上昇や購買行動の変化、書籍・文具分野の縮小など、事業環境が大きく変化する中、売上の単純拡大に依存するのではなく、

☞ **粗利の確保・効率性の向上・商品構成の最適化**を通じて、安定した事業運営の確立を目指す。

2. 重点課題

(1)商品構成の転換(稼げる構造づくり)

収益力の高い商品・サービスへのシフトを進める。

- ・内製弁当・ベーカリーの強化
- ・PC・情報機器等の高付加価値商品の展開
- ・オリジナルグッズの企画・販売強化

一方で、書籍・文具については、需要動向を踏まえ、

☞ **在庫の適正化と効率的な供給体制への見直し**を進める。

(2)店舗運営の最適化(選択と集中)

店舗ごとの役割を明確化し、経営資源の最適配分を行う。

- ・収益性の高い店舗への重点投資 **※鶴1ショップ店舗改装の実現**
- ・小規模店舗の運営効率化
- ・不採算領域の見直し

☞ **全体最適の視点で店舗戦略を再構築**する。

店舗ごとの個別最適ではなく、事業部全体の収益最大化の観点から、各店舗の役割を明確化し、商品構成・人員配置・投資の配分を見直す。具体的には、収益性の高い店舗には重点的に経営資源を配分する一方、小規模店舗については機能の整理や効率的な運営体制への転換を図るなど、店舗ごとの特性に応じた運営を進める。

(3)コスト構造の改革(生産性向上)

人件費やエネルギーコストの上昇を踏まえ、効率的な運営体制を構築する。

- ・人員配置の最適化(時間帯別運営)
- ・業務の標準化・省力化
- ・設備・運営コストの見直し

☞ 「売上依存型」から「効率重視型」への転換を図る。

(4)データに基づく運営の強化

KPI(重要業績指標)を活用し、現場の意思決定の質を高める。

- ・粗利率(GPR)の管理強化
- ・商品構成比の最適化
- ・人時売上高・ロス率の継続的改善

☞ データに基づく改善サイクルの定着を図る。

3. 重点施策

上記課題を踏まえ、以下の施策を重点的に推進する。

1. 食事提供機能の強化(弁当・ベーカリーの拡充)
2. デジタル・PC 関連商品の提案強化
3. 季節・イベント連動型の商品企画(入学・卒業等・学祭・オープンキャンパス・祭事)
4. 売場レイアウトおよび導線の見直し
5. 在庫管理・発注精度の向上

4. 目指す姿

2026年度は、単年度の成果にとどまらず、

☞ 中長期的に安定した収益を生み出す事業基盤の確立を目指す。

そのために、

- ・利益を確実に確保できる商品構成
- ・無駄のない効率的な店舗運営
- ・環境変化に柔軟に対応できる組織体制

を実現し、組合員の生活を支える持続可能な事業運営を推進する。

6.5. まとめ

2026年度は、

☞ 「稼ぐ力」を高める転換の一年と位置付ける。

引き続き、組合員ニーズに応えながら、経営基盤の強化を図り、神戸大学生協ショップ事業部としての価値向上に努めていく。

【フードサービス事業部 活動方針】

1. 神戸大学における食の事業を通し、組合員への貢献・満足度を高めます。

①客数を指標とし、1,141,223人の利用を目指します。

☞ 昼食時間帯の混雑対策を徹底し、昼食時間帯の利用環境の向上を目指します。

- ・各コーナーの見直しによるスピード提供
- ・登校率が上がる新学期、各クォーター開始時を中心に見直しをかける
- ・迷わず利用出来るよう食堂の場所や利用方法、メニューが一目で分かるようにする

- ・列動線を整え混雑感をなくす
- ・施設の有効活用による分散利用を進める

鶴1食堂のクイックレーン、さくらテイクアウト(4月)、工学部テイクアウトコーナー・LANS HALAL Vege Dining 等

- ・テイクアウト商品の強化
 - ・手作り弁当のブラッシュアップによるテイクアウト商品の強化
 - ・神大オリジナル弁当を核に連合メニューも積極的に採用し飽きのこない編成にする
 - ・手作りパンの製造
 - ・鶴1食堂厨房を使用しパンの製造、各ショップ、工学部テイクアウトコーナーで販売
 - ・レジ決済のスピードアップ
 - ・各店舗5人/分以上を達成する
 - ・新学期を中心に掲示、案内放送、誘導によるスムーズなアプリ対応
 - ・ショップ事業部と連携し新学期開講までに事前チャージを行う
 - ・来訪者価格の導入を進め現金決済の多い店舗を中心に生協加入の案内を行う
 - ・工学部テイクアウトコーナーでセルフレジを導入し混雑緩和を進める
- ☞昼食以外の時間帯、土曜日、留学生、教職員向けの食環境を整えます。
- ・ベルボックス、工学部の夜営業のブラッシュアップ
 - ・教職員向けにさくらを予約制で対応
 - ・教職員向けに幕の内型のテイクアウト弁当の強化
 - ・留学生向けにハラル&ベジダイニングの営業
 - ・手作りパンの食堂営業時間外の販売(購買店舗)
 - ・100円朝食の実施

②Q S S₂C、衛生管理の改善を進め店舗のレベルを上げ、組合員満足度を高めます。

- ☞Q項目85%、S2項目85%、C項目85%を達成された店舗作りを進めます。
- ・月次会議で店舗運営担当を中心として発信・課題の改善を進める
 - ・臨店チェック、相互チェックの実施
 - ・職場会議やMTで課題を明確にしながら改善を進める
- ☞施設衛生点検項目で全店A評価を達成された店舗作りを進めます。
- ・臨店チェックの実施
 - ・月次会議で衛生担当を中心として発信・課題の改善を進める
 - ・職場会議やミーティングで課題を明確にしながら改善を進める
 - ・スキルアップ講座の全員参加

③神戸大学生協全体の食に貢献します。

- ☞MEALPASSを軸に神大生協全体の食に貢献します。
- ・新入生シェア率45%、継続率75%、全学年シェア率25%を目指す
 - ・購買分類の利用開放による神大生協全体の利用増加を目指す
 - ・2食プランによる昼食以外の利用機会の増加を目指す
 - ・返金制度の導入による、女子学生、自宅生、上回生の利用増加を目指す
- ☞手作り弁当、手作りパンを中心にテイクアウト商品を強化します。
- ・ショップ事業部と協力しパンの製造、新メニューの考案を行う

- ・パンスタッフの衛生教育などのフォローアップ
- ・パン、弁当以外のテイクアウト商品の検討
- ☞閑散期に関しては利用とコストのバランスを取り食の環境を整えます。
 - ・提供コーナーの絞り込みによる廃棄ロスの削減と経費のコントロールに重点を置く
 - ・リセット清掃、教育、研修の機会
- ☞コンパ、ケータリング事業をブラッシュアップします。
 - ・利用者のニーズに応え幅広く対応をする
 - ・外部ケータリング業者の活用
 - ・各店舗の設営、片付けなどワークシェアを進め負担を軽減
- ④神大生協の組合員に対して知る活動を進めます。
 - ☞利用者アンケートの実施、ニーズを汲み取り店舗改善を進めます。
 - ☞組合員と一番近い距離で働くスタッフの声を積極的に聞き、店舗改善に活かします。
 - ☞MEALPASS アンケートを行い、利用者保護者双方の意見を取り入れます。
- ⑤広報活動により、組合員に知らせる活動を強化します
 - ☞外から食堂の場所や利用方法が一目で分かるようにし迷わず利用出来るようにします。
 - ☞SNS など店舗内ではなく店舗外での宣伝活動を行います。
 - ・フードサービス事業部全体の情報発信(Instagram)
 - ・LINE 配信による食堂案内
 - ・CoMenu の全店活用によるメニューの事前告知やおすすめメニュー紹介
 - ・ホームページの定期更新
- ⑥食生活支援事業としての役割発揮、地産地消、各種団体とのコラボ企画などにより、食堂での楽しさを演出します。
 - ☞組合員の参画を促進し、大学生協としての役割を發揮します。
 - ・一言カードの声には可能な限り応える
 - ・各食堂で食生活相談の実施、コラボメニューの出食
 - ・大学とのコラボ企画を進める(保健管理センター)
 - ・組合員参画型のフェアを全店舗で実施
 - ☞MEALPASS を利用いただく事で組合員の食と健康を支えます。
 - ・キャンパス格差を極力なくしたメニュー編成にする
 - ・連合の組み合わせ提案を全店で取り入れ、より健康的な食生活の支援を行う
 - ☞企業協賛や来訪者価格差額などを原資に組合員に利用還元を行います。
 - ・ベルボックス、工学部食堂で 100 円夕食の実施
 - ・鶴 1 食堂で 100 円朝食の実施検討
 - ・組合員還元企画の実施
 - ☞神大生協独自企画により、利用する楽しさを演出します。
 - ・メニュー担当を中心に年度計画の立案・実行
- ⑦新店・リニューアル店舗の組合員満足を高めます。
 - ☞鶴 2 食堂のリノベーションを大学と協力しながら進めます
 - ・大学、組合員の要望を取り入れた店舗作りを行う
 - ・店舗独自のアンケートを実施し改善を進める

3. FS 事業部全体で事業剰余予算を達成し、神大生協全体に貢献します

①組合員に支持される店舗づくりをすすめ、供給高 684,941 千円を達成します。

- ☞各店舗予算客数に拘り、目標客数達成に向けて時間帯別に追及・対策の執行を徹底します。
- ☞昼食時間帯においては各コーナーの出食スピードに拘ります。
 - ・各コーナーS₂基準を達成させる

②事業規模に対応し、利用に合わせたコントロールを最重要課題とします。

- ☞各店舗客数M/H、定時職員人件費率を指標とし、利用に合わせた稼働計画・投下労働時間の執行・修正を行います。
- ・パート時間数に対する客数M/H、定時職員人件費率の予算数値を最下限と設定し利用に合わせた稼働計画のコントロールをする

弁当、パン込み	鶴1	BELBOX	工学部	LANSBOX	鶴2	医学	保健	深江	全店合計
客数MH	8.60	8.92	11.12	9.77	7.38	9.36	6.43	7.00	8.45
定時職員人件費率	31.3%	29.7%	22.2%	28.9%	35.4%	28.1%	45.2%	35.1%	29.7%

- ・1分単位勤怠、更衣手当による時間数増加を稼働計画の運用で最小限にとどめる
- ☞閑散期営業については利用に合わせ効率化を進めます。
 - ・各コーナーの絞り込みによる労務効率の向上
 - ・労働時間確保のためワークシェアの実施
- ☞物件費に関しては、厨房内消耗品の計画的購入・削減・修繕・水道光熱費の削減を進めます。
 - ・施設・設備担当を中心に進める
 - ・予算との乖離に関しては詳細に分析し原因の追究
 - ・水道光熱費は各店舗で削減対策を実施する
 - ・安全衛生に関する修繕、省人化、長期的に見て投資効率の高いモノには積極的に投資し、長期的な固定費を削減させる

③店舗作業のパート化を進め、マネジメントスタイルの構築を進めます。

- ・正規職員については日常的な店舗作業には従事せず抜けられる体制を目指す
- ・残業時間の予算内執行
- ・日時、週次、月次のルーティンワークもパート化していく
- ・夜営業、土曜日営業のパート化を進める(RD、TD)
- ・能力に応じ、店舗間異動や新たなポストへ登用する
- ・能力や段階に応じ連合主催の学習会に参加

④連帯の研修や学習会への参加を通し店舗運営に必要なマネジメント力をつけます。

- ・正規職員を中心に連合主催の会議・研修や学習会の参加を義務付ける

⑤月次フード会議は、学び合いの場とします。

- ・統一のフォーマットを活用し分析改善を進める
- ・店舗報告を中心に活発な議論の場とする
- ・全員で各店舗の改善、Q S S₂Cのレベルアップを図る
- ・店舗の取り組み報告や改善活動の共有により学び合いを深める

⑥部門全体の作業のムリ・ムラ・ムダを無くし効率化を目指します。

- ☞各店舗の供給活動・対応など重複する作業については部門全体で役割分担し、作業の効率化を進めます。

- ・製造・配送・事務処理等、集中と分散の構築
- ・店舗作業のワークシェアによる効率化
- ・各担当(メニュー・情報宣伝、店舗運営、施設設備、衛生食生活、コンパ・ケータリング)による発信と共有

⑦NR-Gシステムをスムーズに運用します

- ☞システム関係の運用をスムーズに進めます
- ・必要に応じて情報の共有を行う

4. 従業員満足を高め、全店舗スタッフが働きがいのある職場環境を整えます。

①方針や目指すべき状態を全店舗スタッフに共有し、共に達成することを目指します。

- ☞QSCチェック、食堂衛生チェックの結果を共有し、改善計画を共に進めます。
- ☞店舗方針や店舗の取り組み課題を明確にし、店舗スタッフが理解し取り組む店舗にします。

②職場会議やミーティング、店舗連絡網を活用したコミュニケーションを行います。

- ☞全体発信が必要な情報は、全店舗スタッフへ周知徹底します。
- ☞職場MTはクォーターごとに開催し、店舗スタッフ全員参加の職場会議を年2回開催します。
- ☞複数店舗の担当者は様々な方法を駆使し日々コミュニケーションを取る。

③安全衛生、労災事故 2025 年度以下を目指します。

- ☞日々の観察や聞き取りを行い、労働災害を未然に防ぐための対策をします。
- ☞労災事故対応フローの見直しを行い、緊急時に速やかに対応します。

④スタッフの定着率アップを目指します。

- ・長期的な採用計画実行により慢性的な人手不足を解消
- ・採用面接、OFFJT の再構築
- ・より効果があり効率的な方法の構築
- ・担当不在時はチーフ・マネージャーが実施
- ・店舗 OJT、店舗責任者、トレーナーによるフォローアップ面談の実施

⑤従業員が働きがいのある職場を目指します。

- ☞契約更新時には個人面談を全店舗スタッフと実施し、お互いの思いを聞き伝える場とします。
- ☞本人の働き方の希望・能力に応じ、店舗を横断しての勤務、店舗異動、ジョブローテーションや新たなポストに積極的な登用します。

【総務部】

1. 新生生の生協加入率 100%、学生総合共済加入率 80%を目指します。また、35 歳以上の組合員へは、引き続き COOP 共済保険商品を提案し、無保険とにならないように尽力します。
2. 卒業生に対して、コープ共済の新社会人コースへの移行率 30%を目指します。
3. 大学との新たな業務連携を探求します。
4. 各事業部と連携し、「長く」「働きやすい」「安全で安心」な職場環境の構築に取り組みます。
5. 最低賃金の上昇ならびに社会保険適用拡大により、人件費の負担は年々高くなっています。また、パートタイマーの採用に関しても厳しい状況が続いています。そのことから、各事業部に最適な人事労務政策を提案します。
6. 生協加入のメリットをより明確にするため、生協未加入者(来訪者等を含む)に対する非組合員価格の運用開始に向けて、各事業と連携し推進します。

学生委員会活動方針

○26年度の活動指針

23年度開始時に、学生委員会(以下 GI)の活動の軸となる活動指針(以下 MVV と呼ぶ)を策定し、23年度から引き続きこれをもとに企画の発案やその他活動を行ってまいりました。

今年度(26年度)におきましても、以下に示します MVV を軸に活動してまいります。

【ミッション(神大 GI の活動理念)】

組合員に学生目線での価値還元を行う

大学生協は、組合員から預かった出資金を運用することで活動しているため、組合員へ利益を還元しなければいけない。これは大学生協の一組織(組織内委員会)である GI にも当てはまることである。GI は、学生組合員にて構成されており、還元を受ける側である。よって GI は、学生委員が様々な価値観や意見を学生の立場から共有し、組合員のより多様なニーズに対応した活動を行うことが可能である。これを GI の強みであると認識するとともに、自分も組合員の一員と捉え、組合員＝自分自身がそれぞれの「魅力ある大学生活」という価値の還元を実感できる状態を目指す。

※「価値還元」とは？

組合員の日々の利用による「収益」は、組合員に何らかの形で還元(利用還元)する必要がある。これは生協の事業活動上での還元だけではなく、GI も自分たちが創造できる「価値」を無形有形問わず「魅力のある大学生活につながるもの」と定義してそれを組合員に提供(還元)することを目指して活動している。

【ビジョン(どんな企画を行うか)】

生協と組合員の橋渡しとなる

大学生協は、組合員が必要とするサポートやサービスを提供している。しかし現時点では、大学生協は組合員にとって身近な存在として確立されていない。そこで、学生主体の組織である GI は、学生目線で組合員のニーズに意識を向け、自身の活動へと反映させるべきである。その活動を通して、大学生協の存在を身近に感じてもらうことを目指す。

【バリュー(ミッションを達成するための行動指針)】

① 組合員のニーズを的確に捉え、企画に反映させる。

ここでの「ニーズ」とは、組合員自身が持つ要望や悩み、不安といった顕在的なものに加えて、学生委員の視点から、大学生の知見として必要ではあるが現状不足しているといった社会からのニーズもまた、潜在的なニーズとして考える。

② お互いの頑張りを認め合う。

GI におけるあらゆる活動は、常に誰かの頑張りによって支えられているので、それに対する感謝やリスペクトの心を忘れてはならない。また、自分自身の頑張りを仲間に伝え褒め合うことも、お互いを尊敬できる雰囲気づくりにおいて重要である。

③ 楽しみながら最後までやり遂げる。

GI では、向上心を持ってやりたいことにチャレンジする機会を多く得ることができる。そして、その経験から得た学びを共有し、今後に活かすことは個人に限らず GI 全体の大きな成長につながる。また、活動を楽しみつつも、自身のキャパシティを把握し責任感を持って取り組むことが必要である。

④ 言い争うのではなく、意見を交換する。

GIの活動では話し合う場面が多くある。そこで自分の意見をはっきり伝えることは大切だが、頭ごなしに自分の価値観を押し付けてはいけない。お互いの考え方の違いを理解し、相手の意見を尊重しあうことで、より実のある話し合いが可能になる。

⑤ 持ちつ持たれつ関係を築く。

GI活動をする中で、悩みや苦勞を感じることもある。1人で抱え込まずそれらをみんなで共有し、持ちつ持たれつ関係を学生委員同士が築くことで、GI全体の一体感が生まれる。

○GIから学生組合員の皆様へ

私たち学生委員会(以下GI)は、学生組合員が主体となり活動に取り組んでいる生協の組織内委員会です。大きな活動理念やどのような企画を行うか、また私たちが考える企画の実現に必要な行動指針は上記の通りです。その中にある「組合員に学生目線での価値還元を行う」というミッションと「生協と組合員の橋渡しとなる」というビジョンには、組合員(神戸大学の学生や教職員)のために行われている生協の事業・活動が、生協だけで独り歩きせず、組合員に寄り添った事業・活動になるように、私たちGIが様々な場面で連携するという意味も含まれております。

また、組合員の大部分を占める学生の目線で「魅力のある大学生活」という価値を還元できるという点が私たちの日々の活動の原動力であり、その実現を常に目指しております。その実現のために、選挙や環境問題啓発企画等の社会的課題の啓発活動や、SNS等での有意義な情報発信、機関紙「Rambler Times」等の冊子の発行をしております。そして、新入生がスムーズな大学生活のスタートを切れるような情報を盛り込んだ冊子「うりぼう」の発行や、団体としての質を維持するために必要な新入生歓迎企画も行っております。近年では、神戸大学と連携して受験生(未来の神戸大学生協の組合員)へのサポートも行っております。

※詳細に関しては第一号議案の2025年度学生委員会活動報告を参照ください。

企画とは別に、GIから組合員への活動はもちろんのこと、GI部員の活動へのモチベーションアップや企画の幅を広げるため、他大学GIと交流会を実施し交流を広げるなどの活動も行ってきました。以上のようにGIは多様な活動を行っていますが、まだまだ不十分な点があります。特に、私たちが時間をかけて行っている活動の情報や名称が、十分に組合員へ行き届いていない現状は大変残念に感じています。近年では、毎年課題として上がるテーマでもあるため、今後必ず改善しなければならぬ問題と考えております。2026年度はそういった課題の解決・改善に継続的に取り組みつつ、柔軟な発想でより多くの組合員のニーズに応えることで、学生目線での価値還元をしっかりと実現できるようGIメンバー一丸となって取り組みます。

最後に、長くなりましたが、GIの活動には組合員の皆様の協力が不可欠です。ぜひ、皆様の最高の大学生活を実現できるようともに頑張っていきましょう！

神戸大学生協学生委員会
2025年度委員長 河元 峻
2026年度委員長候補 岸田 壮太

第2号議案－2 2026年度予算

1. 2026年度予算(案)

〈単位：千円〉

	合 計	ショップ	フードサービス	総務部
		事業部	事業部	
総供給高	2,109,096	1,424,141	684,955	0
供給値引	19,249	3,369	0	15,880
純供給高	2,089,847	1,420,772	684,955	-15,880
供給剰余金	579,924	214,589	381,215	▲15,880
G P R	27.7%	15.1%	55.7%	100.0%
共済受託手数料収入	23,700	0	0	23,700
教育文化事業収入	364	0	0	364
供給事業手数料収入	351	0	0	351
不動産賃貸収入	3,210	3,210	0	0
その他手数料収入	140,356	106,106	0	34,250
その他事業収入計	167,981	109,316	0	58,665
事業総剰余金	747,905	323,905	381,215	42,785
役員報酬	8,492	0	0	8,492
職員給与	94,353	61,777	30,244	2,332
定時職員給与	335,830	99,199	203,531	33,100
退職給付費用	6,576	0	0	6,576
法定福利費	45,351	18,531	18,948	7,872
厚生費	2,728	805	1,613	310
役員退職給与引当金繰入	840	0	0	840
賞与引当金繰入	7,000	0	0	7,000
派遣人件費	3,600	3,600	0	0
人件費合計	504,770	183,912	254,336	66,522
教育文化費	1,350	0	0	1,350
広報費	7,916	4,660	231	3,025
消耗品費	36,330	14,913	16,619	4,798
物流費	2,493	2	0	2,491
車輛運搬費	11,057	8,807	1,041	1,209
施設維持管理費	19,017	3,329	13,711	1,977
減価償却費	10,335	3,828	6,195	312
賃借料	2,414	1,381	84	949
水道光熱費	41,755	7,793	32,848	1,114
保険料	1,614	0	0	1,614
委託料	56,720	7,373	4,232	45,115
研修採用費	4,428	130	1,800	2,498
調査研究費	326	87	10	229
会議費	805	392	223	190
諸会費	7,553	211	12	7,330
渉外費	225	0	90	135
租税公課	556	4	0	552
通信交通費	10,644	3,865	734	6,045
雑費	14,956	160	14	14,782
事業連合委託費	61,656	0	0	61,656
物件費合計	292,150	56,935	77,844	157,371
事業経費合計	796,920	240,847	332,180	223,893
事業剰余金	▲49,015	83,058	49,035	▲181,108
事業外収益	21,839	3,810	5,000	13,029
経常剰余金	▲27,176	86,868	54,035	▲168,079
税引前当期剰余金	▲27,176	86,868	54,035	▲168,079

2. 2026年度予算(案)と2025年度実績の対比

<単位：千円>

2026年度 予 算	2025年度				2025年度 実 績	対比 (%)
	総合計	ショップ 事業部計	フードサービス 事業部計	総務部計		
総供給高	2,109,096	1,424,141	684,955	0	2,123,765	▲0.7
供給値引	19,249	3,369	0	15,880	20,890	▲7.9
純供給高	2,089,847	1,420,772	684,955	-15,880	2,102,875	▲0.6
供給剰余金	579,924	214,589	381,215	-15,880	575,796	0.7
G P R	27.7%	15.1%	55.7%	100.0%	27.4%	1.3
その他収入計	167,981	109,316	0	58,665	159,488	5.3
事業総剰余金	747,905	323,905	381,215	42,785	735,284	1.7
人件費計	504,770	183,912	254,336	66,522	482,511	4.6
物件費計	292,150	56,935	77,844	157,371	299,230	▲2.4
事業経費合計	796,920	240,847	332,180	223,893	781,741	1.9
事業剰余金	▲49,015	83,058	49,035	-181,108	▲46,457	▲5.5
事業外収益	21,669	3,810	5,000	13,029	32,050	▲32.4
事業外費用	0			0	1,459	▲100.0
経常剰余金	▲27,176	86,868	54,035	-168,079	▲15,866	▲71.3
特別利益	0	0	0	0	4,900	▲100.0
特別損失	0	0	0	0	129	▲100.0
税引前当期剰余金	▲27,176	86,868	54,035	-168,079	▲11,095	▲144.9

3. ショップ事業部 2026年度予算(案)

<単位：千円>

名称	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	年間
供給高	381,705	158,798	87,662	86,484	80,100	80,570	60,784	121,345	79,080	79,481	77,133	130,999	1,424,141
供給値引	618	206	180	224	232	212	317	305	277	260	261	277	3,369
供給原価	320,048	129,209	74,685	72,422	67,540	72,401	53,383	101,469	66,813	67,550	66,644	114,019	0
供給剰余金	61,039	29,383	12,797	13,838	12,328	7,957	7,084	19,571	11,990	11,671	10,228	16,703	214,589
不動産賃貸収入	240	210	260	280	280	280	280	280	280	280	280	260	3,210
その他手数料収入	40,479	18,934	11,638	4,834	2,741	2,323	3,482	6,955	853	1,457	1,825	10,585	106,106
その他事業収入計	40,719	19,144	11,898	5,114	3,021	2,603	3,762	7,235	1,133	1,737	2,105	10,845	109,316
事業総剰余金	101,758	48,527	24,695	18,952	15,349	10,560	10,846	26,806	13,123	13,408	12,333	27,548	323,905
職員給与	4,162	5,229	3,811	9,680	3,826	3,807	3,800	4,869	3,825	11,059	3,852	3,857	61,777
定時職員給与	10,360	9,611	10,033	7,570	8,142	8,711	5,317	6,479	9,406	7,769	7,668	8,133	99,199
法定福利費	1,370	1,403	1,379	1,453	2,166	1,423	1,392	1,448	1,474	1,529	1,963	1,531	18,531
厚生費	147	168	44	34	4	6	23	64	48	26	20	221	805
派遣人件費	290	280	310	310	310	310	280	270	310	310	310	310	3,600
人件費合計	16,329	16,691	15,577	19,047	14,448	14,257	10,812	13,130	15,063	20,693	13,813	14,052	183,912
広報費	2,088	787	498	56	20	163	55	444	127	78	37	307	4,660
消耗品費	1,642	646	446	439	532	8,356	298	613	349	413	429	750	14,913
車輪運搬費	16	5,189	232	527	674	144	501	427	76	77	627	317	8,807
施設維持管理費	1,076	250	158	318	146	168	136	219	136	197	177	348	3,329
減価償却費	319	319	319	319	319	319	319	319	319	319	319	319	3,828
賃借料	8	230	151	101	93	109	101	107	101	100	130	150	1,381
水道光熱費	347	611	564	597	775	971	732	681	673	520	632	690	7,793
委託料	243	843	800	1,188	206	515	600	1,049	468	362	300	799	7,373
研修採用費	8	62	0	1	0	0	2	0	0	0	7	50	130
調査研究費	1	4	4	4	4	1	6	3	5	47	5	3	87
会議費	0	202	0	65	3	0	60	60	2	0	0	0	392
諸会費	0	0	78	50	0	0	5	66	12	0	0	0	211
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	0	4
通信交通費	190	289	659	251	222	378	172	270	498	291	349	296	3,865
雑費	10	20	25	10	10	10	10	20	15	10	10	10	160
物件費合計	5,948	9,452	3,934	3,926	3,006	11,134	2,992	4,217	2,835	2,428	3,024	4,039	56,935
事業経費合計	22,277	26,143	19,511	22,973	17,454	25,391	13,804	17,347	17,898	23,121	16,837	18,091	240,847
事業剰余金	79,481	22,384	5,184	▲4,021	▲2,105	▲14,831	▲2,958	9,459	▲4,775	▲9,713	▲4,504	9,457	83,058
雑収入	0	210	80	400	380	250	20	500	120	100	50	1,700	3,810
事業外収益	0	210	80	400	380	250	20	500	120	100	50	1,700	3,810
経常剰余金	79,481	22,594	5,264	▲3,621	▲1,725	▲14,581	▲2,938	9,959	▲4,655	▲9,613	▲4,454	11,157	86,868

4. フードサービス事業部 2026 年度予算(案)

<単位：千円>

名称	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	年間
供給高	30,528	71,449	68,328	79,500	78,018	29,332	29,378	76,566	67,654	62,386	55,512	36,304	684,955
供給値引	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
供給剰余金	17,615	39,900	37,886	44,581	43,176	16,198	16,883	42,427	37,763	34,496	30,424	19,866	381,215
その他事業収入計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業総剰余金	17,615	39,900	37,886	44,581	43,176	16,198	16,883	42,427	37,763	34,496	30,424	19,866	381,215
職員給与	2,302	2,541	1,845	4,463	1,949	1,880	1,868	2,565	1,915	5,076	1,949	1,891	30,244
定時職員給与	12,430	13,588	19,168	18,118	20,489	21,368	12,071	12,835	20,800	18,545	17,973	16,146	203,531
法定福利費	1,536	1,521	1,529	1,538	1,790	1,548	1,531	1,541	1,554	1,613	1,712	1,535	18,948
厚生費	105	143	107	194	141	98	133	170	149	168	105	100	1,613
人件費合計	16,373	17,793	22,649	24,313	24,369	24,894	15,603	17,111	24,418	25,402	21,739	19,672	254,336
広報費	0	138	26	16	7	0	0	2	2	8	10	22	231
消耗品費	990	1,821	1,591	1,538	1,621	947	1,145	1,683	1,522	1,208	1,273	1,280	16,619
車輛運搬費	5	30	80	35	55	85	460	55	41	45	45	105	1,041
施設維持管理費	883	1,153	1,520	1,283	1,011	947	1,002	1,222	1,003	1,107	1,018	1,562	13,711
減価償却費	516	516	516	516	516	516	516	516	516	516	516	519	6,195
賃借料	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	84
水道光熱費	50	1,857	2,597	2,854	3,482	3,359	2,515	2,413	2,713	2,507	2,682	5,819	32,848
委託料	250	428	439	390	362	256	294	375	313	398	328	399	4,232
研修採用費	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	1,800
調査研究費	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	10
会議費	91	3	6	3	3	6	77	3	6	6	3	16	223
諸会費	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
渉外費	0	0	0	30	0	30	0	0	0	30	0	0	90
通信交通費	8	62	58	67	61	56	66	62	57	61	61	115	734
物件費合計	2,951	6,166	6,991	6,900	7,276	6,367	6,240	6,489	6,331	6,044	6,094	9,995	77,844
事業経費合計	19,324	23,959	29,640	31,213	31,645	31,261	21,843	23,600	30,749	31,446	27,833	29,667	332,180
事業剰余金	▲1,708	15,941	8,246	13,369	11,530	▲15,063	▲4,960	18,827	7,014	3,050	2,591	▲9,801	49,035
雑収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,000	5,000
事業外収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,000	5,000
經常剰余金	▲1,708	15,941	8,246	13,369	11,530	▲15,063	▲4,960	18,827	7,014	3,050	2,591	▲4,801	54,035
G P 率	57.7%	55.8%	55.4%	56.1%	55.3%	55.2%	57.5%	55.4%	55.8%	55.3%	54.8%	54.7%	55.7%
人件費率	53.6%	24.9%	33.1%	30.6%	31.2%	84.9%	53.1%	22.3%	36.1%	40.7%	39.2%	54.2%	37.1%
物件費率	9.7%	8.6%	10.2%	8.7%	9.3%	21.7%	21.2%	8.5%	9.4%	9.7%	11.0%	27.5%	11.4%
事業剰余率	-5.6%	22.3%	12.1%	16.8%	14.8%	-51.4%	-16.9%	24.6%	10.4%	4.9%	4.7%	-27.0%	7.2%
正規人員	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
正規残業時間	95	100	85	85	85	55	50	65	70	80	85	60	915
パート時間	7,460	7,778	13,477	12,870	14,513	14,568	7,182	7,800	14,184	12,519	12,051	10,691	135,093
労働生産性	312	694	397	488	422	158	317	739	378	388	354	259	418
利用客数	41,475	123,842	117,125	133,754	135,240	48,334	43,896	128,717	111,572	104,310	93,284	59,675	1,141,224
利用単価	736	577	583	594	577	607	669	595	606	598	595	608	600
労働生産性分配率	92.9%	44.6%	59.8%	54.5%	56.4%	153.7%	92.4%	40.3%	64.7%	73.6%	71.5%	99.0%	66.7%
定時職員人件費比率	40.7%	19.0%	28.1%	22.8%	26.3%	72.8%	41.1%	16.8%	30.7%	29.7%	32.4%	44.5%	29.7%
M/H	5.56	15.92	8.69	10.39	9.32	3.32	6.11	16.50	7.39	8.33	7.74	5.58	8.45

5. 予算の特徴(2025 年度実績との対比)

(1)事業総剰余

供給高は▲0.7%、供給総剰余は+0.7%、手数料は+5.3%です。供給高は、鶴1ショップの8月から9月にかけての改装による休業の影響もありマイナス伸長となりますが、供給剰余金は手作り弁当や手作りパンの内製商品を強化(GPRの改善)、手数料は新入生支援活動関係の取り組みの高次化により増収を目指します。結果、事業総剰余は、+1.7%です。

(2)経費

①人件費は、全体で+4.5%となります。

正規役職員18名(出向職員1名を含む)、パートタイマー238名の人員体制で予算編成しています。正規職員の賞与は年間3.7ヶ月としています。

パートタイマーに関しては、時間給の最低賃金が大きく改定されることと、社会保険の適用人数が増えることを想定し、3月から10月は+6.0%、11月から2月は+6.5%で編成しました。

②物件費は、△2.4%となります。

予算編成には労働環境の改善ならびに営業に必要な経費を除き、出来る限り圧縮します。但し、8月から9月にかけて鶴1ショップの改装を計画しており、800万円の改装費用を計上しています。

(3)事業外収益

事業外収益では、経費の戻入、トレイ広告収入、経年度出資金整理益を計上しています。

(4)剰 余

結果、税引前当期剰余金で△2,717万円の予算となります。

収支均衡での編成を目指しましたが、3期連続で損失(赤字)予算となります。

6. 推 移

2011年度実績から2026年度予算を、事業総剰余(供給剰余+その他収入)・人件費・物件費・当期剰余金・累積剰余金の推移を表した表とグラフは以下の通りです。

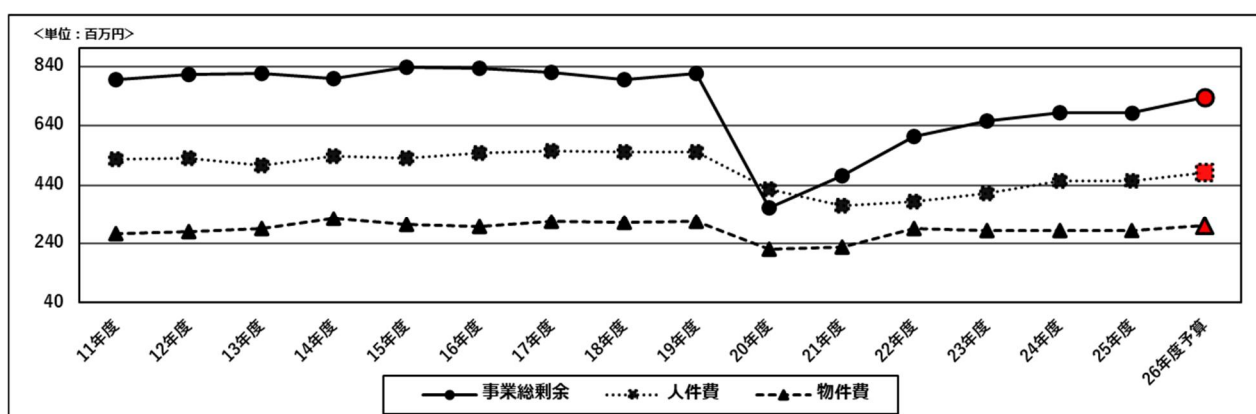
① 2011年度—2026年度予算推移表

<単位：千円>

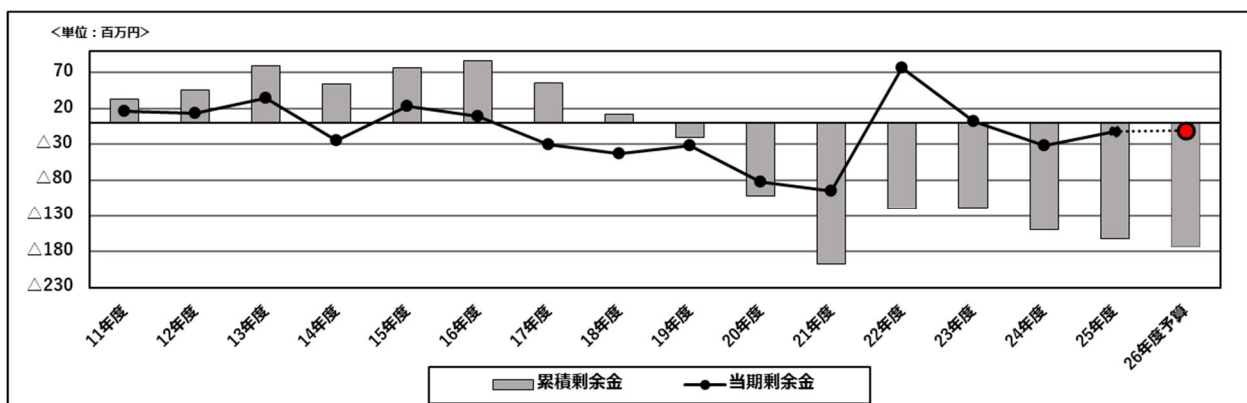
	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
事業総剰余	794,399	813,504	815,843	798,695	838,231	831,804	819,642	796,573
人件費	526,770	530,405	507,541	537,468	531,042	549,505	554,917	549,870
物件費	272,143	281,119	289,592	323,776	303,321	296,283	314,045	311,946
当期剰余金	15,894	13,546	33,559	△25,367	22,363	9,153	△30,951	△43,259
累積剰余金	32,347	45,893	79,452	54,085	76,448	85,601	54,650	11,391

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度予算
事業総剰余	817,148	363,160	471,193	602,568	655,177	684,236	684,236	735,284
人件費	552,495	427,531	372,021	385,356	412,343	453,308	453,308	482,511
物件費	315,344	220,481	228,390	289,241	282,955	284,405	284,405	299,230
当期剰余金	△31,282	△82,435	△94,636	76,806	1,745	△31,329	△12,252	△11,095
累積剰余金	△19,891	△102,326	△196,962	△120,156	△118,411	△149,740	△161,992	△173,087

② 事業総剰余・人件費・物件費 2011年度—2026年度予算推移グラフ



③ 当期剰余金・累積剰余金 2011年度～2026年度予算推移グラフ



なお、本議案の官庁等への届け出等については、本通常総代会の議決の趣旨に反しない範囲内で字句の修正等をさせていただくことを理事会に一任願います。

第 3 号議案 2026 年度役員選出の件

生協の運営を担う役員（理事・監事）は、総代会にて総代の皆様から選出されます。役員選挙管理委員会のもと、役員立候補及び理事会での推薦を受けた役員候補者は、以下の 29 名となります。

1. 選出をお願いする役員（理事・監事）は以下の通りです。

【理事候補 25 名】

選出区	氏名	所属・学年
院生・学生区	西田 駿	工学研究科 1 年生(前理事)
	川崎 海音	農学研究科 1 年生(前理事)
	飯田 陽向	工学部 4 年生(前理事)
	齋藤 晴香	農学部 4 年生(前理事)
	尾形 瑞生	国際人間科学部 3 年生(前理事)
	河元 峻	経済部 3 年生(前理事)
	秋山 花音	経営学部 3 年生(前理事)
	門田 大輝	工学部 3 年生(前理事)
	岸田 壮太	海洋政策科学部 2 年生(新人)
	松田 凜	海洋政策科学部 2 年生(新人)
	今宮 結菜	医学部保健学科 2 年生(新人)
	奴田原 果穂	国際人間科学部 2 年生(新人)
	道塚 富星	経済学部 2 年生(新人)
教職員区	西野 友年	理学研究科教員(前理事)
	朴 鐘祐	人文学研究科教員(前理事)
	横川 博一	国際コミュニケーションセンター教員(前理事)
	石丸 幸勢	附属中等教育学校教員(前理事)
	小澤 卓也	国際文化学研究科教員(前理事)
	橋本 直人	人間発達環境学研究科教員(前理事)
	石田 達郎	海事科学研究科教員(新人)
	藍原 祥子	農学研究科教員(新人)
	福島 宙輝	システム情報学研究科教員(新人)
その他	坂本 安弘	生協職員(前理事)
	木村 祐一	生協職員(前理事)
	岡川 功	生協職員(前理事)

【監事候補 4 名】

選出区	氏名	所属・学年
全体区	大村 直人	工学研究科教員(前監事)
	中出 麻紀	大学職員(前監事)
	木下 幸喜	国際人間科学部 4 年生(前理事)
	清光 英成	国際文化学研究科教員(新人)

2. 役員の任期

1年間

※本総代会で任期を満了する役員は以下の通りです。

【理事】

西野 友年(教員)	朴 鐘祐(教員)	向井 洋一(教員)	横川 博一(教員)
元井 直樹(教員)	小澤 卓也(教員)	橋本 直人(教員)	石丸 幸勢(教員)
宮田 祥羽(学生)	西田 駿(学生)	川崎 海音(学生)	古橋 みのり(学生)
飯田 陽向(学生)	木下 幸喜(学生)	森本 紗代(学生)	辻野 康生(学生)
齋藤 晴香(学生)	小川 晏奈(学生)	尾形 瑞生(学生)	河元 峻(学生)
秋山 花音(学生)	門田 大輝(学生)	木村 祐一(生協職員)	岡川 功(生協職員)
坂本 安弘(生協職員)			以上 25 名

【監事】

大谷 恭弘(大学研究員)	中出 麻紀(大学職員)	大村 直人(大学教員)	以上 3 名
--------------	-------------	-------------	--------

なお、本議案の官庁等への届け出等については、本通常総代会の議決の趣旨に反しない範囲内で字句の修正等をさせていただくことを理事会に一任願います。

第4号議案 役員報酬決定の件

役員の年間報酬(2026年6月～2027年5月)について、下記の総額の範囲で理事会が定める役員報酬規則および役員退職金規則にもとづいて支給すること、および各役員の報酬額・支給方法などについては理事会の協議に委ねることを提案します。

1. 役員報酬

2026年度役員報酬のうち、退職慰労金を除くものについて次の総額を定めます。

理事の報酬 1名 総額 1,000万円

- ・理事のうち、常勤役員は1名の予定です。
- ・この議案は、報酬総額(上限額)を定めるものであり、実際の支給額は理事会の議決にて定めます。
- ・この金額は、前年度の総代会で議決した金額と同じです。
- ・監事への報酬はありません。

2. 役員退職慰労金の金額

今総代会で就任予定の役員が、何らかの事由で次期総代会までに退任した場合に、退職慰労金として支払う可能性のある分も含めた総額を提案しています。

役員報酬規則にもとづき役員就任期間に対応する役員退職慰労金を支給することとし、具体的な支給金額・支給時期等については理事会に委ねます。

理事への退職慰労金 1名 総額 850万円

- ・現専務理事 坂本 安弘(2015年5月から専務理事)が次期通常総代会までに退任した場合に支払う可能性のある退職慰労金について、上記の総額の範囲で役員報酬規則及び役員退職慰労金規則に基づき、具体的な支給金額・支給時期等を理事会に委ねます。
なお、退職しない場合は支払われません。
- ・この金額は、前年度の総代会で議決した金額と異なります。次期就任予定者の勤続年数の増加のためです。

なお、本議案の官庁等への届け出等については、本通常総代会の議決の趣旨に反しない範囲内で字句の修正等をさせていただくことを理事会に一任願います。